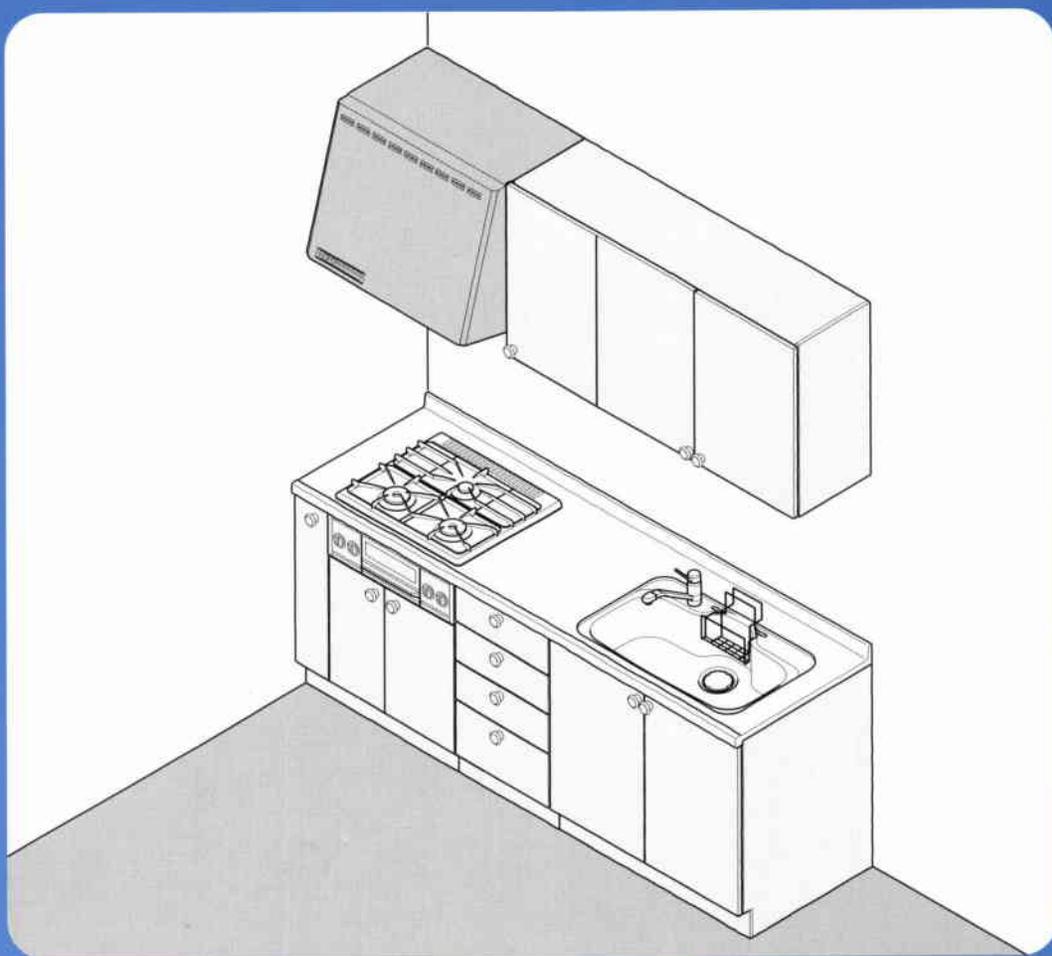


マンション用

システムキッチン

取扱い説明書



ご使用にあたって

この説明書では、お施主さまが商品を安全に正しくご使用いただくための取扱い方法やお手入れ方法などの重要な内容を記載しております。

ご留意いただくとともに、大切に保存してください。

目次

■重要なお知らせ	1
■各部の名称	2
■警告用語の種類と意味	3
■特に注意していただきたいこと	4~10
■ご使用前の確認事項	11
■その他の留意事項	12~18
■お手入れ方法	19~23
■扉の調整方法	24~36
■こんな場合には	37
■保証について	38

重要なお知らせ

ご使用前に

安全のため、必ずお守りください。「マンション用システムキッチン」のご使用及びお手入れを行う場合は、必ずこの取扱い説明書に従ってください。

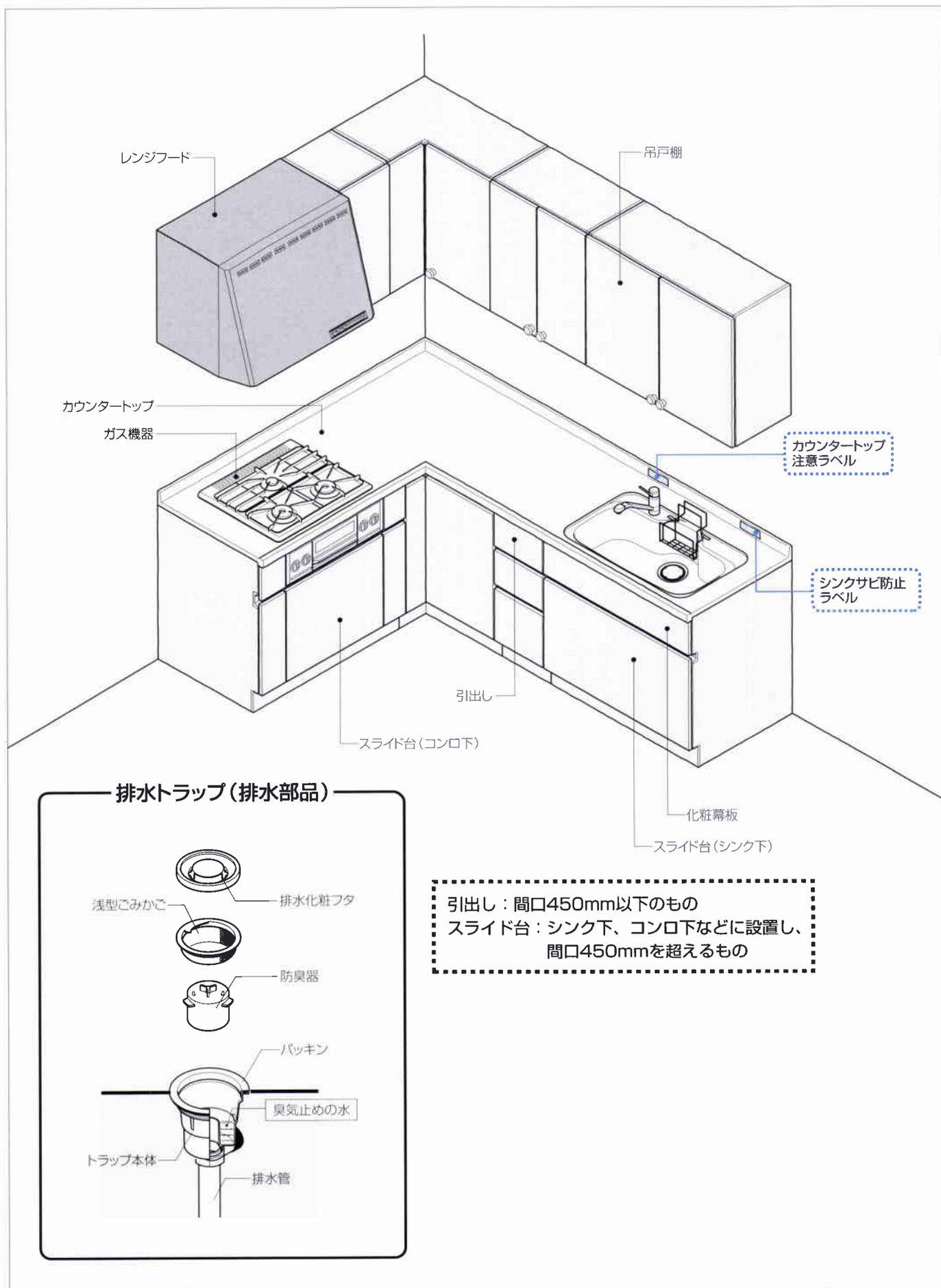
もしこの取扱い説明書に従わず、乱用又は誤用によるケガ及び損害が発生した場合は、トステム株式会社及びその販売会社に責任はないものといたします。

- 1.この取扱い説明書の他にも、あらゆる危険が想定されます。
したがって、「マンション用システムキッチン」のご使用及びお手入れを行う際は、この取扱い説明書の記載事項に限らず、安全対策に関して十分な配慮が必要です。
- 2.この取扱い説明書は著作権を有し、その権利は留保されています。
- 3.この取扱い説明書についての質問又はより詳しい情報が必要な場合は、以下の窓口までご連絡ください。お問合せの際に、マンション名と部屋番号とお名前をお告げくださるようお願いいたします。

問合せ窓口		所在地		TEL
関東地区	内装東京支店	〒136-0071	東京都江東区亀戸1-14-4 第二萬富ビル5F	03-5858-2852
関西地区	内装大阪営業所	〒559-0034	大阪府大阪市住之江区南港北1-7-62	06-6615-2790
九州地区	内装九州支店	〒816-0097	福岡県福岡市博多区半道橋2-15-10	092-415-5020

各部の名称

※ご使用いただくシステムキッチンには、下記イラストと異なる場合があります。



警告用語の種類と意味

※この章では「マンション用システムキッチン」を使用する場合に守るべき安全事項を説明しています。

この「取扱い説明書」では、危険度（又は事故の大きさ）にしたがって、次の3段階に分類しています。以下の用語が持つ意味を理解し、本書の内容（指示）にしたがってください。

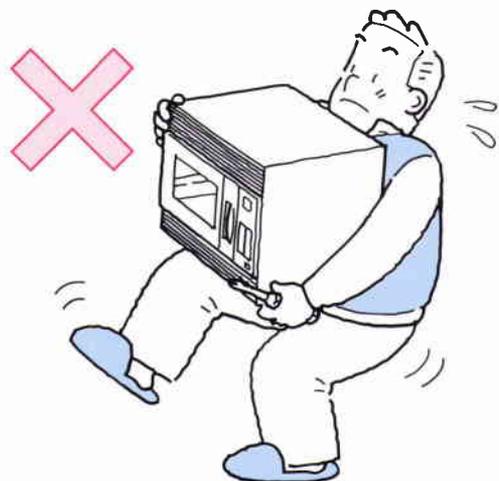
用語	意味
 警告	取扱いを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う危険が想定されます。
 注意	取扱いを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。
お願い	特に注意を促したり強調したい情報で、指示に従わないと機器の損傷・故障などにつながる場合があります。

特に注意していただきたいこと

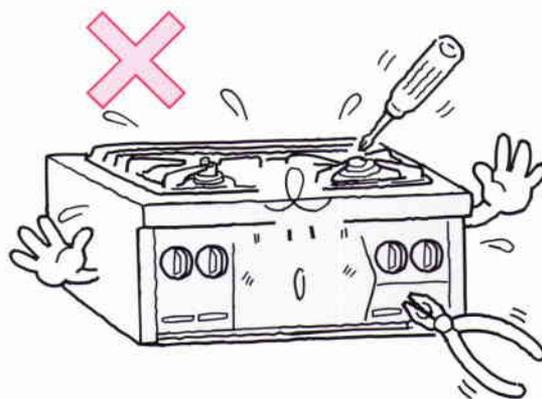
※安全のため、必ずお守りください。

警告

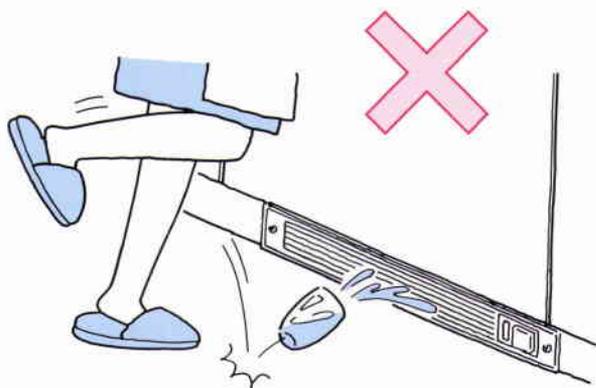
- ご自分でキャビネットや機器類の設置や移動・再設置はしないでください。設置に不備があると、キャビネットの転倒や落下及び機器類の感電・火災や水もれなどの原因になります。



- 蛍光灯の交換・お手入れおよびコンセントの抜き差しは電源スイッチを切ってから行ってください。
- 機器類の修理は、自分でしないでください。修理に不備があると、ガスもれ・感電・火災及び水もれなどの原因になります。



- 照明器具や電気器具に直接水がかからないようにしてください。漏電により感電のおそれがあります。



- 組込まれる機器・水栓金具などについては、それぞれの取扱い説明書および製品本体に表示されている事項をお守りください。使い方を誤ると、思わぬ事故や故障の原因になることがあります。



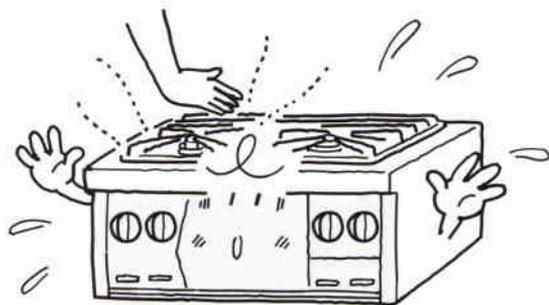
▲ 注意

やけどに注意

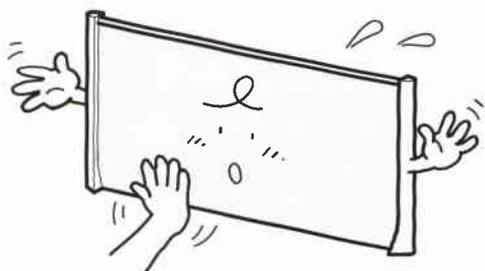
- 調理中は、レンジフードのフィルターおよび周辺の部分に手を触れないでください。フィルターや部品が落下して、やけどやケガをすることがあります。



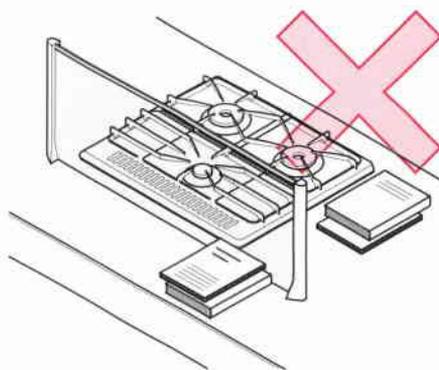
- 調理機器の使用時、使用直後は、調理機器周辺に手を触れないでください。調理機器周辺の表面温度が高くなっているため、やけどをするおそれがあります。



- 調理中は、ガラスプレートに手を触れないでください。温度が高くなっているため、やけどをするおそれがあります。



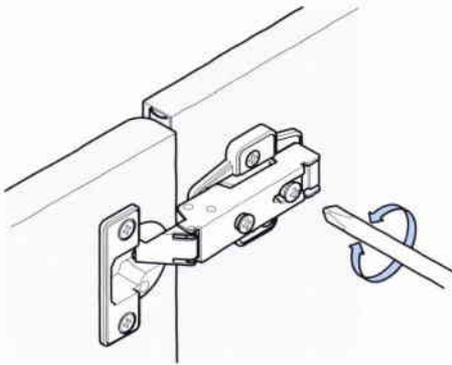
- コンロ使用時にコンロ周りやガラスプレートの裏側に可燃物を置かないでください。引火するおそれがあります。



▲ 注意

ケガに注意

- 扉が傾いたり、ガタついている時は、丁番のねじを締め直してください。扉が落ちてケガをするおそれがあります。(扉の調整方法P24をご覧ください)

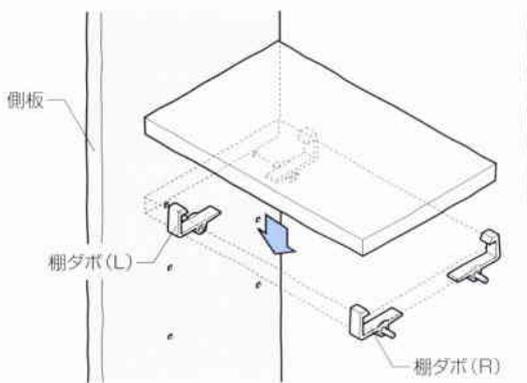


- 扉や把手にぶら下がったり、扉を大きく開けすぎないでください。扉や把手が外れてケガをするおそれがあります。



- 棚板を移動した時は、棚板が棚ダボ(L)(R)にかかるようにのせてください。棚板が落ちてケガをするおそれがあります。

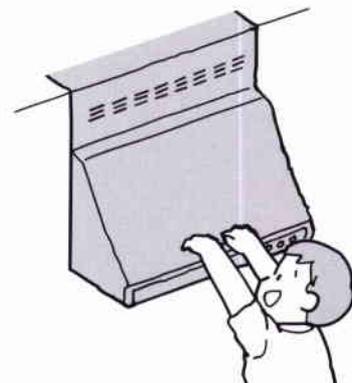
- 棚ダボを外し、再び取付ける場合は、棚ダボの長い方を下にして、奥まで差込んでください。棚板が落ちてケガをするおそれがあります。



- 引出しやスライドテーブルにのらないでください。引出しが外れてケガをするおそれがあります。



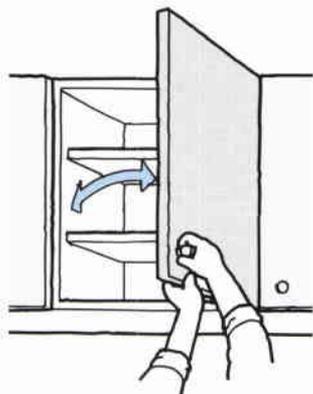
- レンジフードにぶらさがったり体重をかけすぎないようにしてください。レンジフードが脱落してケガをするおそれがあります。



▲ 注意

ケガに注意

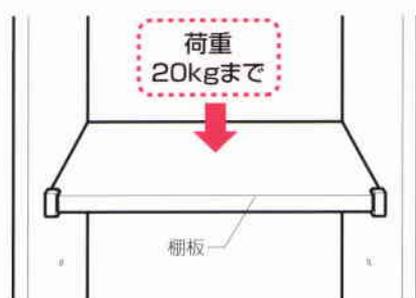
- 扉の取付け後、扉を両手で支えながら開閉及び軽くゆすり、扉が外れないことを必ず確認してください。丁番がベースプレートに入っていないと扉が外れ、落下します。



- かたい物や切りにくい物を切るときは、まな板はカウンタートップの上に置いて作業をしてください。シンクの上にセットして無理な力を加えると、まな板がすべってケガをするおそれがあります。



- 吊戸棚の棚板(1枚)には、20kgまでのせることができます。20kgを超えると、棚板の変形・外れにより中の物が落ちてケガをするおそれがあります。

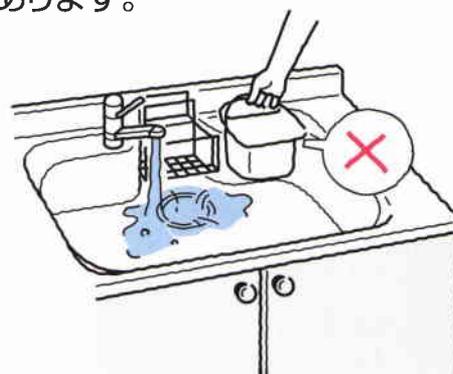


漏水に注意

- 熱湯や、天ぷら油を直接排水口に流さないでください。排水装置が変形したり、排水パイプに穴があいて水もれの原因になります。



- 炊事中は排水トラップの排水網かごを外さないでください。排水パイプがつまり、シンクから水があふれるおそれがあります。



▲ 注意

漏水に注意

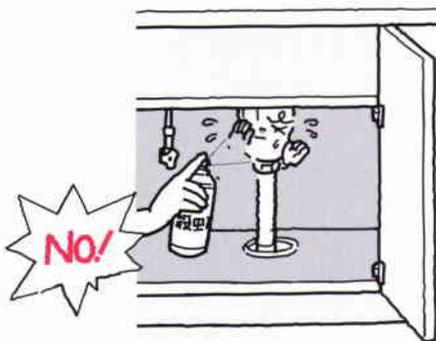
- 排水トラップにシンナーなどの溶剤を流したり、付着させないでください。水もれの原因になります。



- 人造大理石トップシンク周りのコーキング材をはぎ取ったりキズ付けないでください。水もれの原因になります。



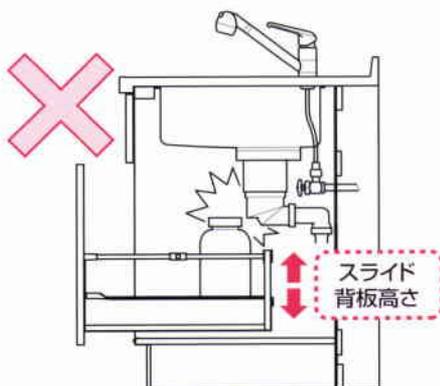
- 排水トラップや排水パイプに殺虫剤を吹き付けないでください。変形したり、割れて水もれの原因になります。



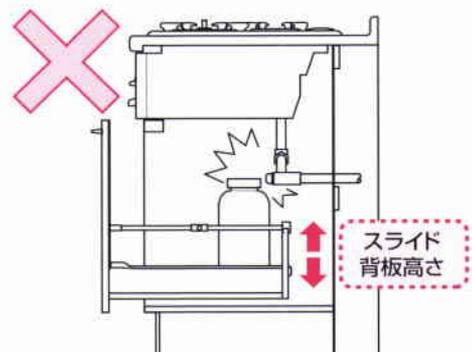
- 固形又は粉末の塩素系洗浄剤(ヌメリ防止剤を含む)・漂白剤は、使ったり、近づけたりしないでください。水や湿気に反応して発生するガスで、ステンレスなどの金属やゴムが腐食・劣化し、漏水の原因になります。保管する場合は、洗浄剤・漂白剤の使用上の注意にしたがってください。

ガス漏れに注意

- シンクの排水管下のスライド台には、背板の高さを超える収納物を置かないでください。スライド台を閉めたときに収納物があたり、配水管をキズ付け、漏水の原因になるおそれがあります。

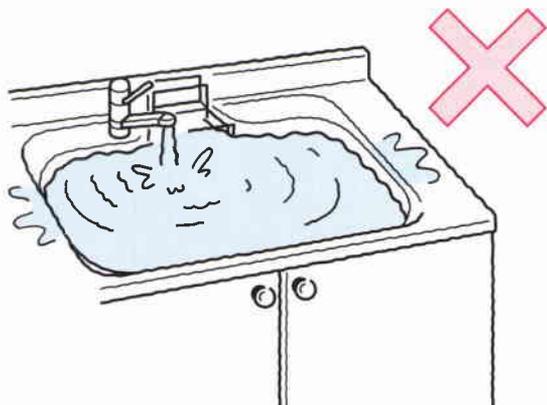


- ガス機器下のスライド台には、背板の高さを超える収納物を置かないでください。スライド台を閉めたときに収納物があたり、ガス管をキズ付け、ガス漏れの原因になるおそれがあります。

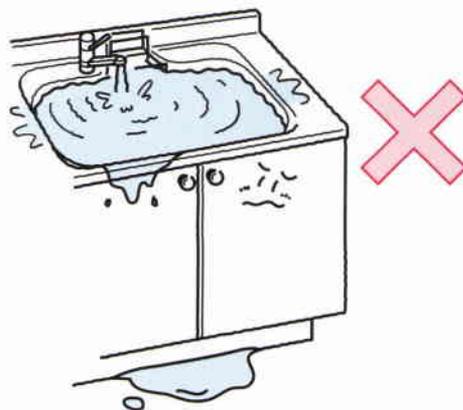


お願い

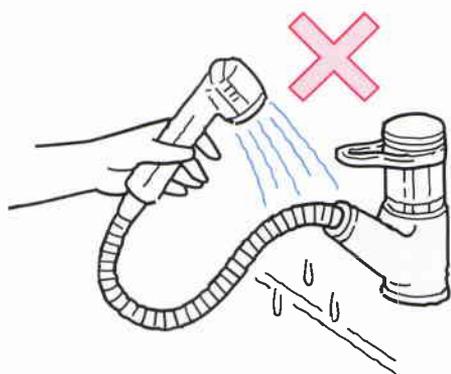
- 水をためたまま、水を多く出して使用しないでください。水があふれるおそれがあります。



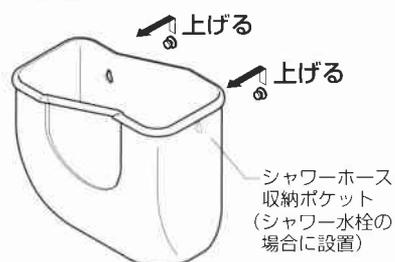
- キャビネットの下に水などをこぼさないでください。キャビネットに水がかかったときは、すぐにふき取ってください。木質でできていますので、表面材のはがれや木部変形の原因となります。



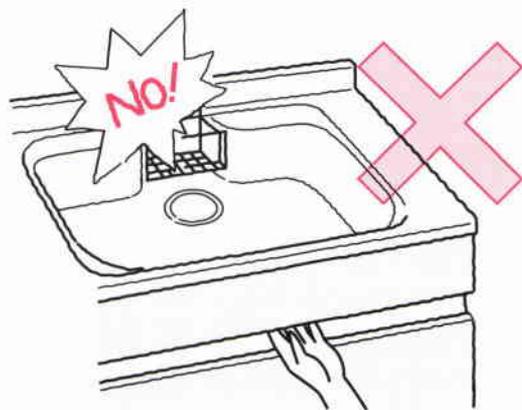
- シャワー水栓のHANDSPREY引出し口、および引出したホース部分に直接水をかけないでください。水がキャビネット内に浸入します。



- シャワー水栓のホースに付着した水滴が、キャビネット内のシャワーホース収納ポケットに落ちる場合があります。通常は自然乾燥しますが、時々点検し、水がたまっていれば下記の要領でシャワーホース収納ポケットを外して水を捨ててください。



- 化粧幕板は扉ではありません。無理に開けようとする、破損するおそれがあります。

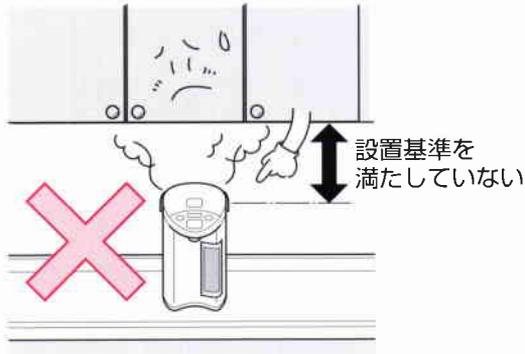


- キッチンパネルに高温の蒸気をあてつづけないようにしてください。キッチンパネル表面が変色するおそれがあります。

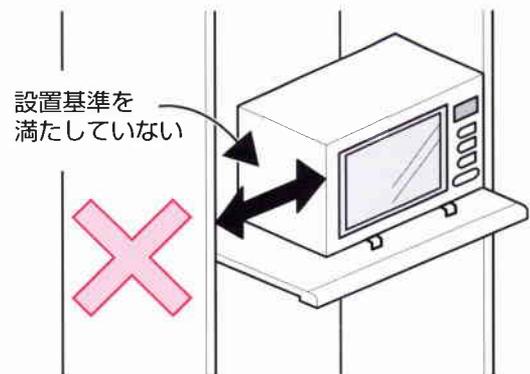


お願い

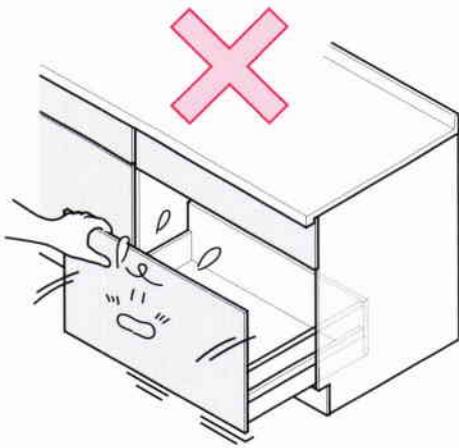
- カウンタートップに蒸気や熱を発生する家電品を設置する際は、その製品の設置基準を満たしているかご確認の上、ご使用ください。家電品上部の吊戸棚や扉が傷む原因となります。



- 家電品を収納される際は、その製品の設置基準を満たしているかご確認の上、ご使用ください。火災のおそれがあります。



- スライド台の開閉時は、端部ではなく、把手又は扉の中央部に手をかけて開閉してください。スライド台の破損につながるおそれがあります。



- スライド台の扉、把手にぶら下がったり、重いものをぶら下げたり、スライド台を引出した状態で体重をかけたりしないでください。スライド台の破損につながるおそれがあります。



ご使用前の確認事項

1

配管個所に水もれはありませんか？



配管個所の水もれ
水・湯水の出を確認

2

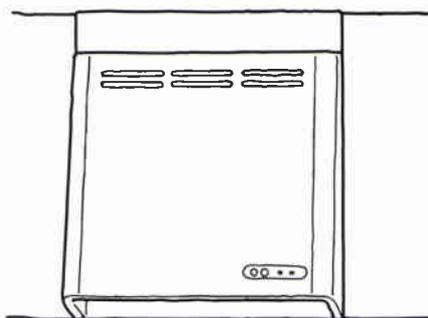
水・湯水の出は適当ですか？

- 別紙の水栓の取扱い説明書をご覧の上、水栓のレバーを操作して水・湯水の出を確かめてください。

3

レンジフードは正常に作動しますか？

- 別紙のレンジフードの取扱い説明書をご覧の上、レンジフードのスイッチを操作して確かめてください。



4

ガス機器は点火しますか？

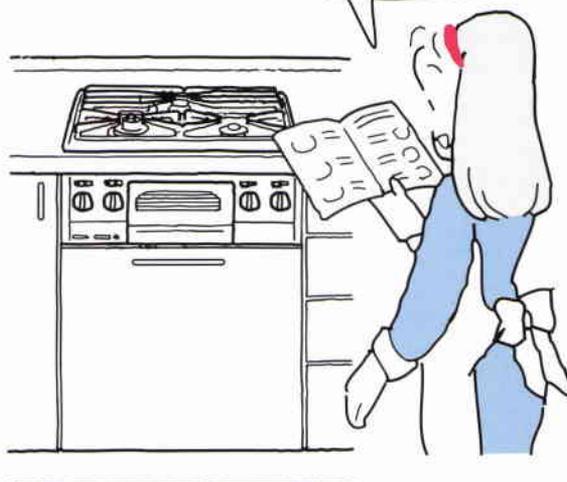
- 別紙のガス機器の取扱い説明書をご覧の上、点火の確認をしてください。

5

その他の機器

- 別紙の各機器の取扱い説明書をご覧の上、運転の確認をしてください。

それぞれの説明書
をよくご覧ください。

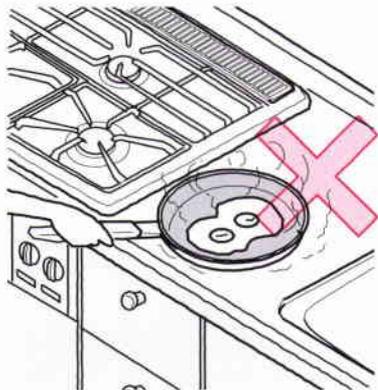


その他の留意事項

1

カウンタートップ(ステンレス・人造大理石・メラミン)

- 熱いフライパンや鍋を直接おかないでください。修復能力を超えて損傷を与える場合がありますので必ず鍋敷を使ってください。



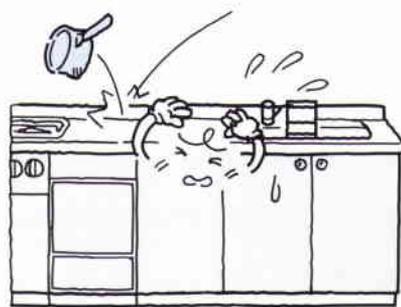
- まな板として使用しないでください。固くて耐衝撃性にはすぐれていますが、ナイフを立てるような使い方をするときずがつきますので、必ずまな板を使ってください。



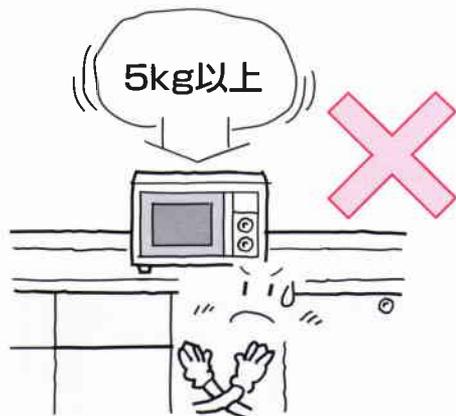
- 醤油・煮こぼれ・食酢その他の調味料などの汚れがついた時は、すぐに洗い流してください。



- 高いところからかたいものや重いものを、落としたり当てたりしないようにしてください。



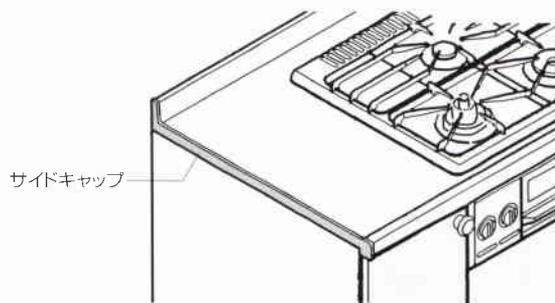
- カウンタートップに5kg以上のものを長期間のせたままにしないでください。カウンターがたわむおそれがあります。



2

ステンレストップ

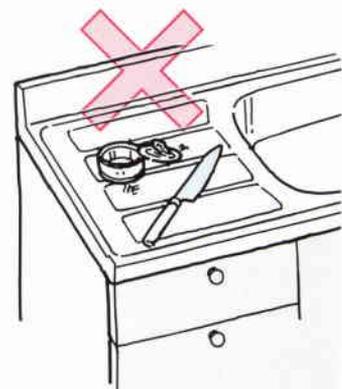
- ステンレストップおよびサイドキャップを金属たわしやナイロンたわしおよび粒子の粗いクレンザーで磨かないでください。キズが付くおそれがあります。クレンザーをお使いの時は台所用クリームクレンザーをお使いください。



- 硫酸・塩酸などの酸類は、ステンレスのサビの原因になりますので使用しないでください。



- ぬれた包丁・缶詰などを長時間放置しておくと、もらいサビの原因になりますのでおやめください。



- 使用後は水をふき取ってください。水道水中に溶け込んでいる不純物が水の蒸発でせき出し、ステンレス表面にシミができる原因となります。

3

人造大理石トップ

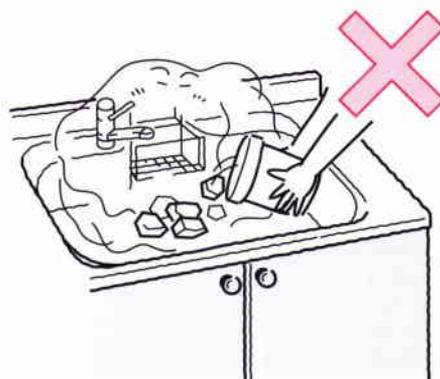
- 硫酸・塩酸・アセトン・シンナー・ペイント除去材などの強力な溶剤は直接触れさせないようにしてください。
- クレヨンを表面に付けると落とせない場合がありますので、付けないでください。



4

ステンレスシンク

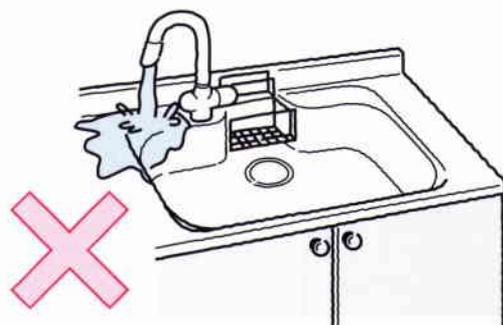
- ステンレストップの留意事項(P12、13)を同様にお守りください。
- シンク内にドライアイス捨てないでください。シンクの裏面が結露する原因となります。
- ステンレスシンクの表面を陶磁器類の底などで引きずったりしないでください。ステンレスは固くキズ付きにくい素材ですが、陶磁器類と比べるとやわらかいため、キズが付く原因となります。



5

水栓

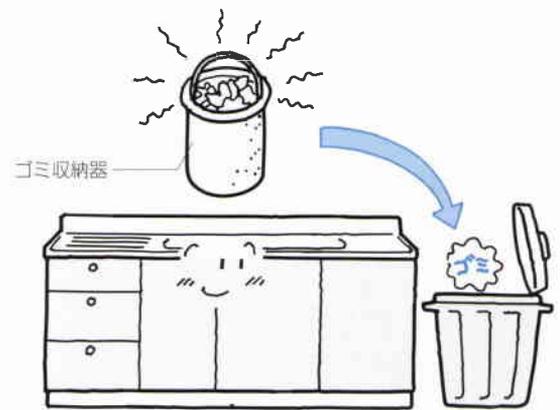
- 水栓、浄水器の中には吐水口が(360度)回転するものがありますので、吐水口がシンク外部にある場合は、水を出さないでください。
- 水栓上部、又は側面から無理な力を加えたり、上から物を落としたりしないでください。水栓や取付け部のカウンターが破損するおそれがあります。



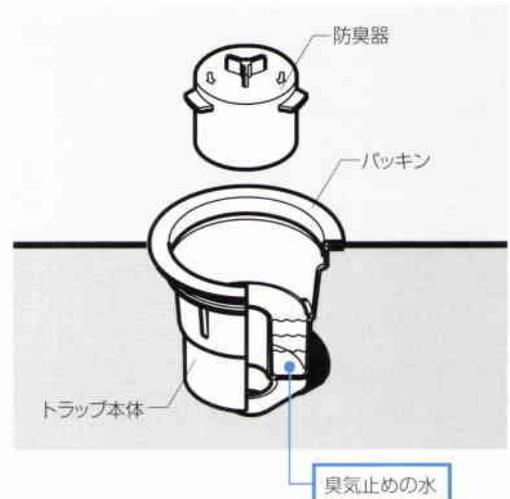
6

ゴミかご付き排水トラップ

- ゴミかごにゴミをためすぎると、悪臭が発生する原因となります。こまめにゴミを捨ててください。



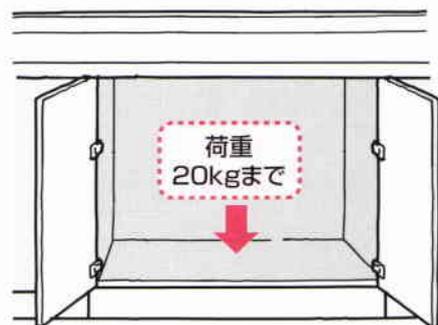
- 防臭器は下水からの悪臭を防止する機構です。通常使用時は外さないでください。(トラップの水が凍るおそれがあるときは、防臭器を外しておいてください。)



7

開きキャビネット

- 開き扉のキャビネット底板には、20kgまでのせることができます。20kgを超えると底板がたわむおそれがあります。

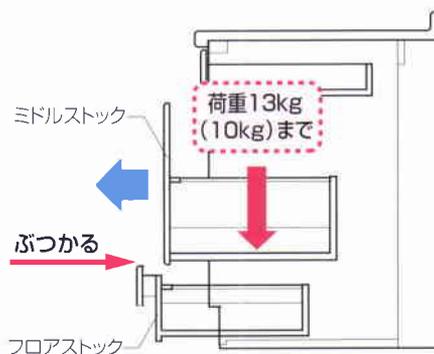


8

フロアストック付きオールスライドキャビネット

- スライド台には、13kgまでのせることができます。
- 引出しには、10kgまでのせることができます。
- フロアストックとミドルストックを同時に引出さないでください。重量によるたわみで扉がぶつかる場合があります。
- スライドの操作は1ヵ所ずつ引出してください。

●スライドは1ヵ所ずつ引出してください

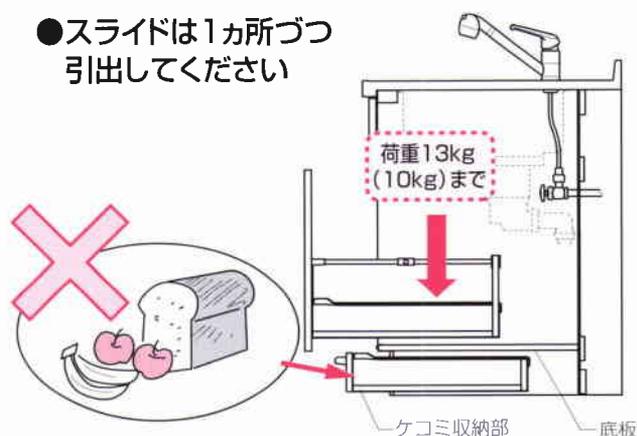


9

ケコミ収納付きスライドキャビネット

- スライド台には、13kgまでのせることができます。
- 引出しには、10kgまでのせることができます。
- ケコミ収納部には、食品(直接口に入れる物)は入れないでください。

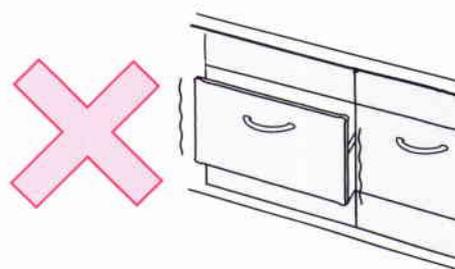
●スライドは1ヵ所ずつ引出してください



10

スライド耐震ロック

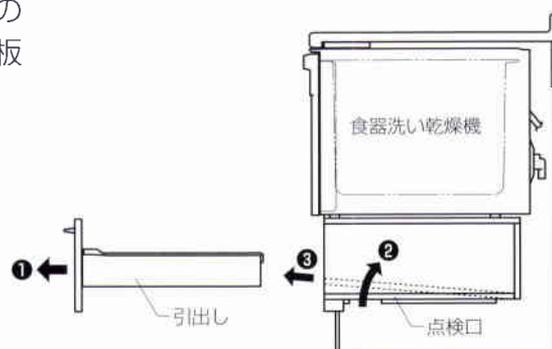
- キャビネットに衝撃をあたえながら引出すと振動が伝わりロックがかかるおそれがあります。一度スライド台を閉めてからゆっくり引出してください。



11

食器洗い乾燥機用キャビネット

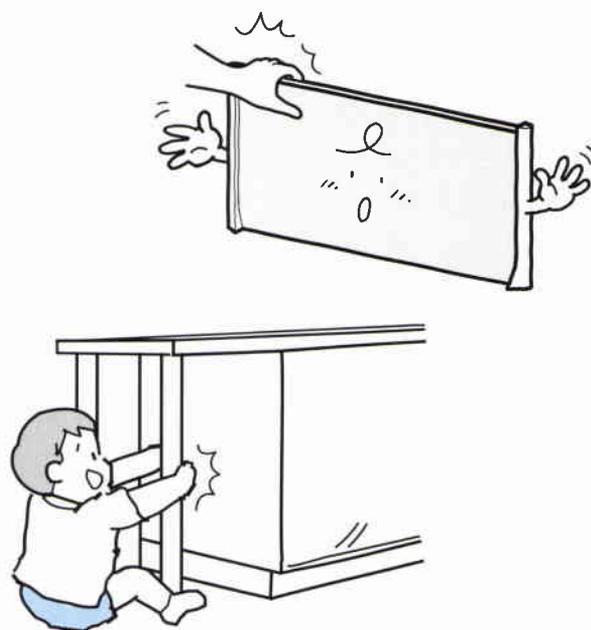
- 食器洗い乾燥機用キャビネットの底板は、作業用の点検口フタとなっています。引出しを取出し、底板を引上げると止水栓の開閉ができます。



12

対面プラン

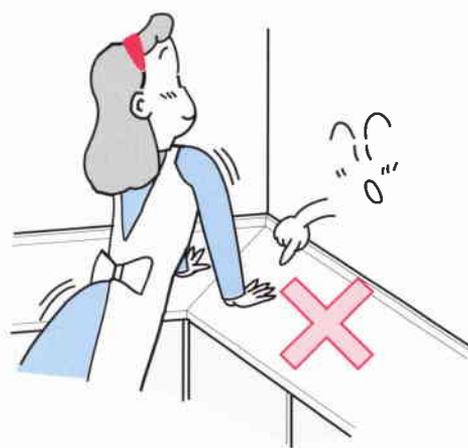
- コンロ前ガラスプレートを、無理に押したり引張ったりしないでください。ガラスが割れるおそれがあります。
- フリースペースのカウンター用ポールに体重をかけたり、掃除機などをあてないようにしてください。ポールが取れるおそれがあります。
- カウンターに体重をかけたり、上にのったりしないでください。カウンターがたわむおそれがあります。



13

L型プラン

- カウンターのコーナー部分に体重をかけたり、上にのったりしないでください。カウンターの継ぎ目が割れる原因となります。



14

食器棚・収納部

- キャビネットの収納部に食品を入れる場合は、容器に入れて密閉してください。キャビネット内に虫が発生する原因となります。

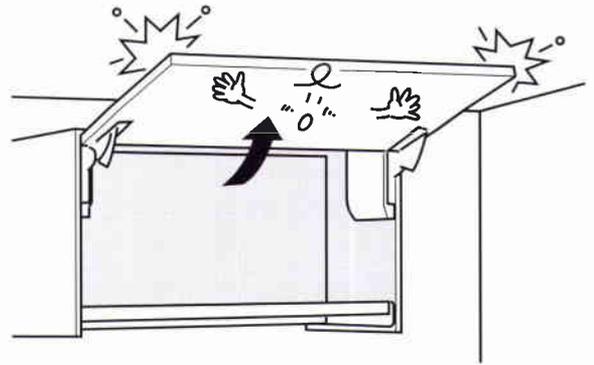
15

ゴミ箱収納ユニット

- ゴミ箱収納ユニットのフタは密閉型ではありません。生ゴミなど、悪臭を発生させる原因となるものは、捨てないでください。

フラップ吊戸棚

- 16 ●フラップ吊戸棚の扉を上げすぎないでください。
把手や扉が天井にぶつかるおそれがあります。

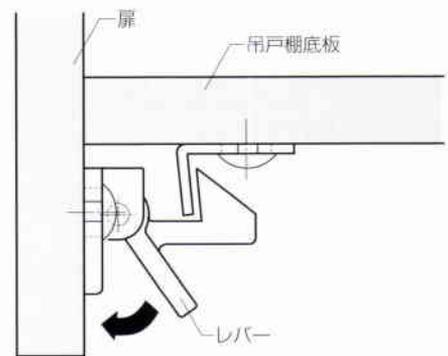


レバーラッチ吊戸の開閉方法

- 17 ●扉を閉めると、自動的にロックされます。
●扉を開ける時は、レバーを引きながら扉を開けます。

お願い

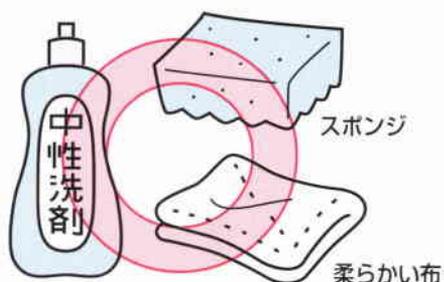
- レバーラッチの付いているキャビネットについては、レバー以外の部分（扉など）を引張って開けないでください。扉又はレバー部品が破損するおそれがあります。



お手入れ方法

お手入れに必要なもの

- 汚れは、中性洗剤を柔らかい布かスポンジに含ませてふき取ってください。



使ってはいけないもの

- シンナー・ベンジン・タワシなどは、商品をいためますので使用しないでください。



1

カウンタートップ及びシンク

①ステンレストップ・人造大理石トップ・メラミントップおよびシンク

- スポンジ又は、湿った布に台所用(中性)洗剤を付けて汚れを落としてください。次に水を含んだ布で洗剤をふき取り、その後、乾いた布でふいてください。



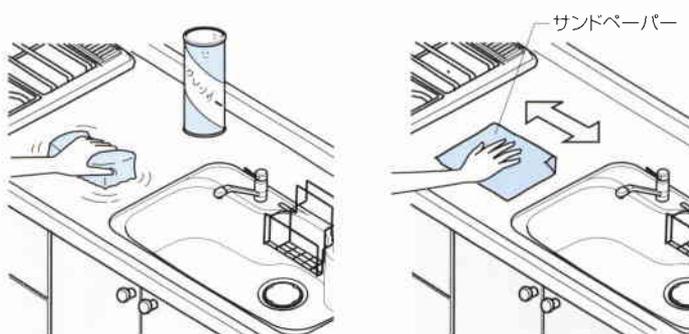
②ステンレストップおよびシンク

- 使用後は水をふき取ってください。ステンレス表面にシミができる原因となります。
- 落とすにくい汚れには、台所用クリームクレンザーを用いて磨いてください。



③人造大理石トップ

- 表面のキズの修理は、クレンザー又は目の細かいサンドペーパー(400番ぐらい)で磨いてください。キズが目立ちにくくなります。ただし、カウンター色が黒系の場合は、磨かないでください。磨いた個所が白っぽくなり、逆に目立ってしまうおそれがあります。
- 落とすにくい汚れには、台所用クリームクレンザーを用いて磨いてください。



2

扉および把手

①メラミン系および木製塗装扉

- 水又は温水を浸した布を固く絞り、ふいてください。その後、ふき取ってください。
- 落としにくい汚れは、布に薄めた中性洗剤をしみ込ませて落とし、水を含んだ布で洗剤をふき取った後、乾いた布でふいてください。



②鏡面扉

- 柔らかい布で空ぶきしてください。
- 落としにくい汚れは柔らかい布に薄めた中性洗剤をしみ込ませて落とします。その後、ぬるま湯を含んだ布で洗剤をふき取り、乾いた柔らかい布でふいてください。



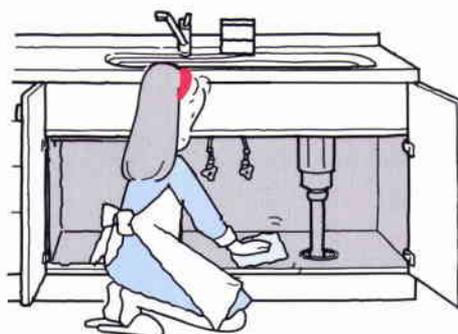
お願い

- シンナー・ベンジン・アルコールや強アルカリ・強酸性洗剤などは使用しないでください。変色又は変質するおそれがあります。
- 扉に汚れがついた状態で放置しないでください。汚れが取れなくなるおそれがあります。

3

キャビネット・棚板および引出し

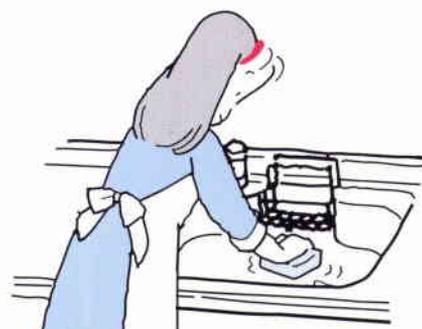
- 部分的な汚れは、中性洗剤を布に付けて落とし、その後、水を含んだ布で洗剤をふき取り、乾いた布でふいてください。



4

シンク

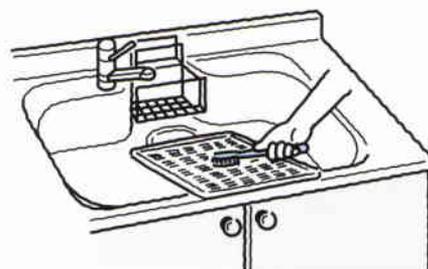
- 台所用洗剤か、台所用クリームクレンザーとスポンジで汚れを落としてください。
- 使い終わった後、乾いた布でふき取ると、きれいになります。



5

レンジフード

- レンジフードは汚れやすいので、3ヵ月に1回ぐらい(整流板、グリスフィルターは1ヵ月に1回ぐらい)お手入れをしてください。
- グリスフィルターの目づまりは、排気効率を低下させます。月に1度ぐらいはフィルターを外し、換気扇専用洗剤を溶かしたぬるま湯に浸し、ブラシ・布などで洗ってください。その後水洗いし、乾いた布でふいてください。
- レンジフードの幕板は点検作業用のフタとなっているため、取外しができる構造になっています。幕板をお手入れの際は、無理な力をかけないでください。ガタつきや外れの原因となります。
- 詳しくは別紙の取扱い説明書をご覧ください。



6

ガス機器

- 別紙の取扱い説明書をご覧ください。



7

キッチンパネル

- 布又はペーパータオルで空ぶきしてください。
- 落としにくい汚れは、布にうすめた中性洗剤をしみ込ませて落とします。次に水をしみ込ませた布でふき、最後に乾いた布でふいてください。
- ふきん掛けなどの備品を取付ける場合は、両面テープ、接着剤を使用しないでください。

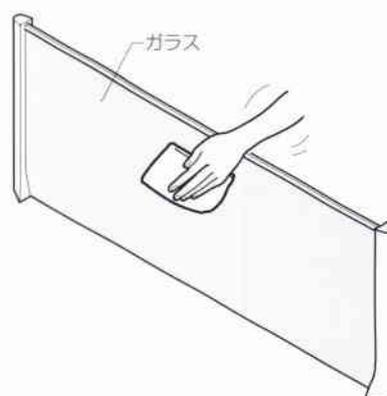


8

コンロ前ガラスプレート

■ガラス部

- 水を浸した布を固く絞り、ふいてください。
- 落としにくい汚れは、布に薄めた中性洗剤をしみ込ませて落とし、水を含んだ布で洗剤をふき取った後、乾いた布でふいてください。



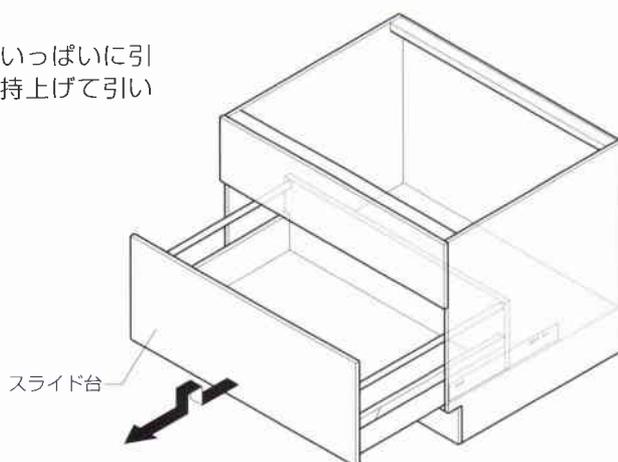
9

浄水器

- 浄水器のカートリッジの交換方法については、別紙の取扱い説明書をご覧ください。
- 浄水器がビルトインタイプでシンク下がスライド台の場合、浄水器のカートリッジ交換時は下記の要領でスライド台を外してください。

■取外し方

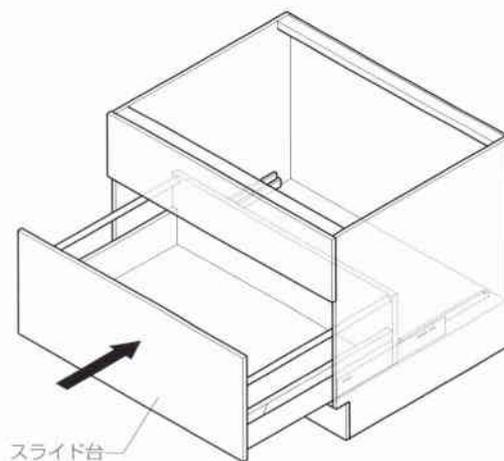
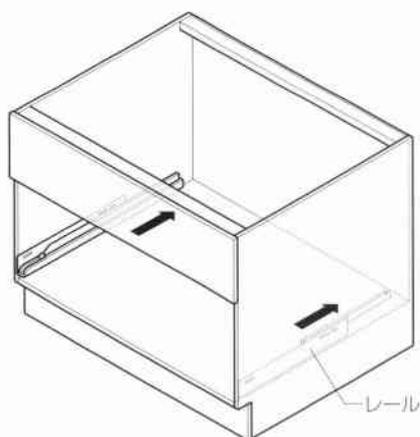
- ※スライド台をいっぱいに入れて少し上に持ち上げて引いてください。



■取付け方

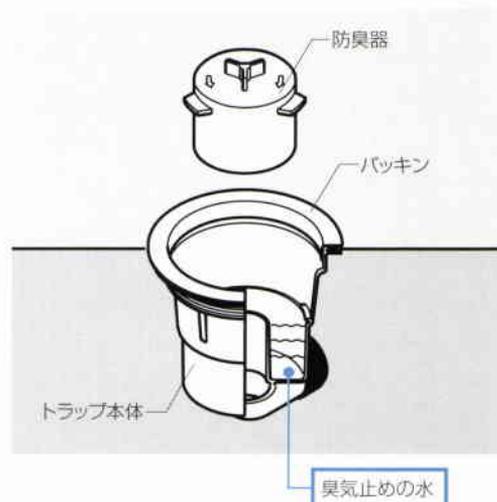
- ※取外し時にレールが引出されるタイプのスライド台は、レールを奥まで戻してください。

- ※スライド台を斜め上方からレールに差込みます。



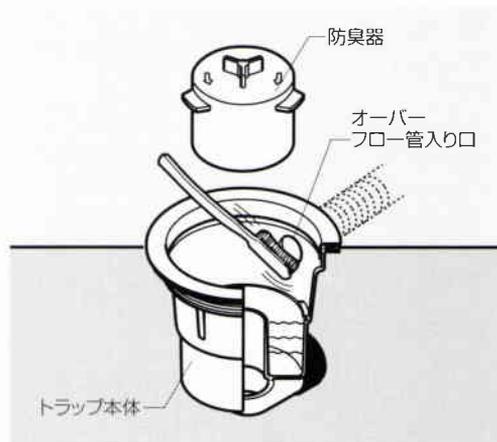
ゴミかご付き排水トラップ

- 10 ●ゴミかごおよび防臭器は、週に1度ぐらい中性洗剤などで洗ってください。



オーバーフロー管付き排水トラップ

- 11 ●排水トラップ内部のオーバーフロー管入り口は、週に一度ぐらいブラシやスポンジなどで洗ってください。汚れが付着し、悪臭が発生する原因となります。



その他機器類などのお手入れ方法

- 12 ●食器洗い乾燥機・食器乾燥機・冷蔵庫・クッキングヒーター・ガスオープンレンジ・オープン・電子レンジ・足元温風機・浄水器などの機器類は、別紙各機器類の取扱い説明書をご覧ください。



扉の調整方法

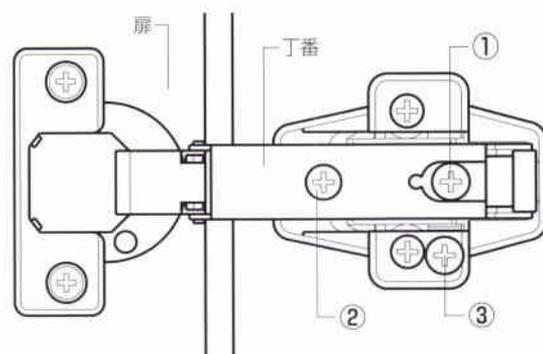
1

開きタイプの建付け調整

▲注意

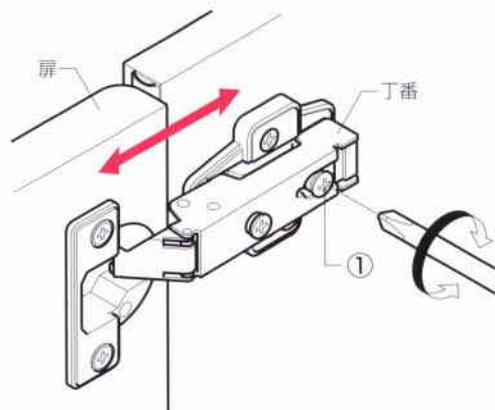
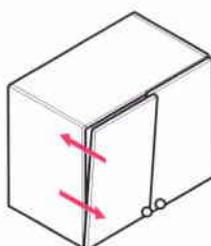
●扉が傾いたり、ガタついているときは、丁番①および③のねじを必ず締め直してください。扉が落ちて、ケガをするおそれがあります。

●扉が斜めになっている場合、丁番の①②③のねじをプラスドライバーで回して調整します。



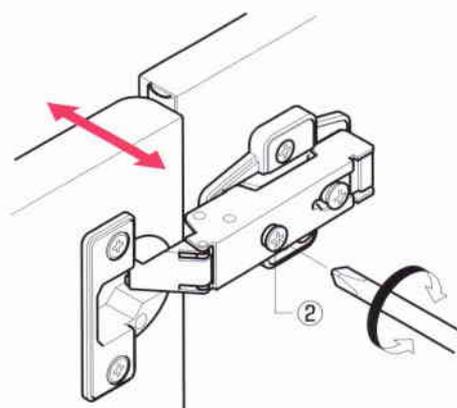
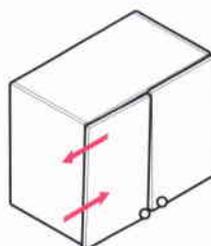
扉の前後調整

●①のねじをゆるめてください。(扉が前後に動かせません) 調整後、①のねじを必ず締め直してください。



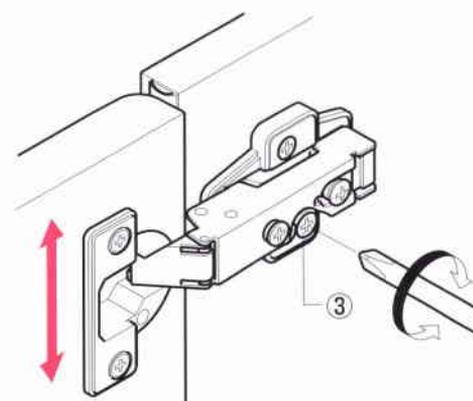
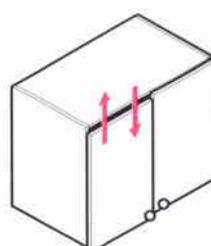
扉の左右調整

●扉が正しい位置にくるまで、②のねじを右又は左へ回してください。



扉の上下調整

●③のねじをゆるめてください。(扉が上下に動かせません) 調整後、③のねじを必ず締め直してください。



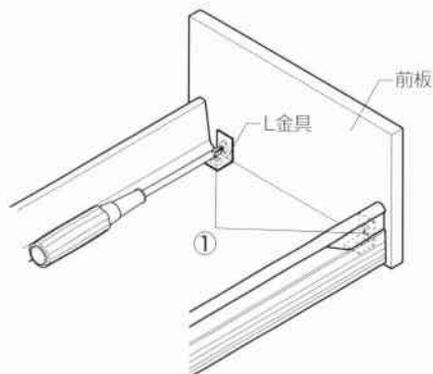
※ロック吊戸の場合は、P27の「5.ロック吊戸の調整」を実施してください。

2

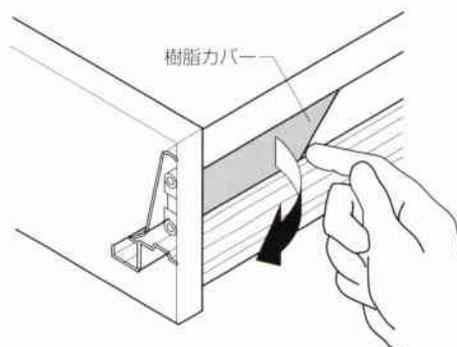
オールスライドタイプの建付け調整

建付け調整の共通手順

1) ①のねじをゆるめます。(ミドルストックの場合のみ)
※L金具がスライド台の裏側に付いているタイプもあります。

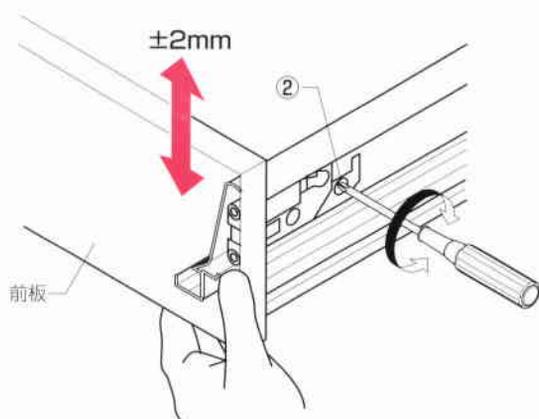


2) 樹脂カバーを取外します。



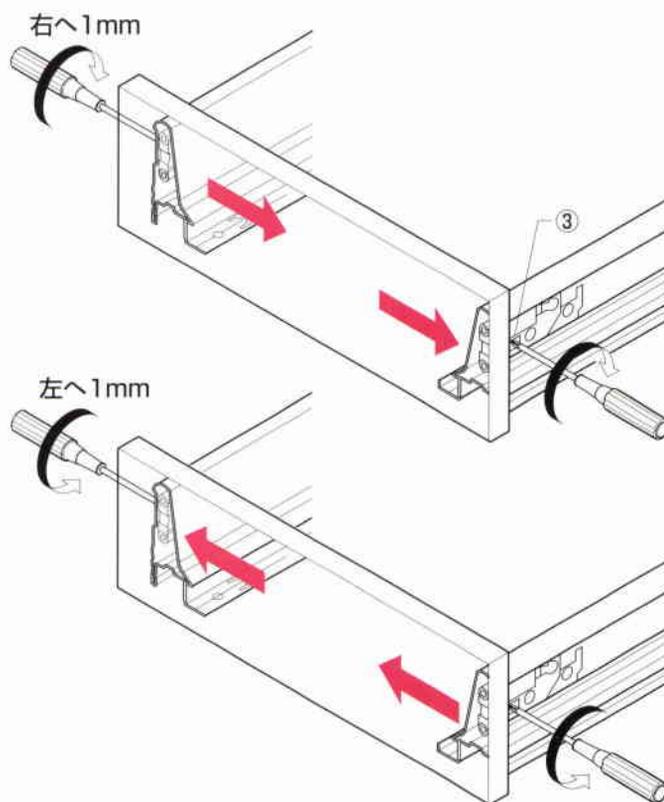
上下の調整 (±2mm)

3) ②のねじをゆるめてください。(前板が上下に動かせます。)調整後、②のねじを必ず締め直してください。



左右の調整 (±1mm)

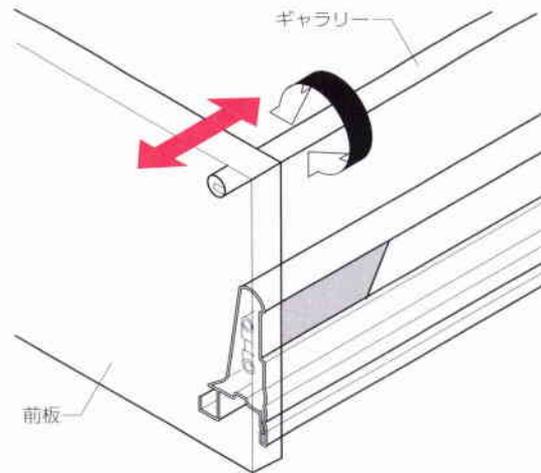
3) ③のねじを右、又は左へ回してください。
(前板を右へ移動させる場合は、右側は右へ回し、左側は左へ回します。)



4) ①のねじを締め直します。

前板の傾き調整

1) ギャラリーを右、又は左へ回して調整します。



3

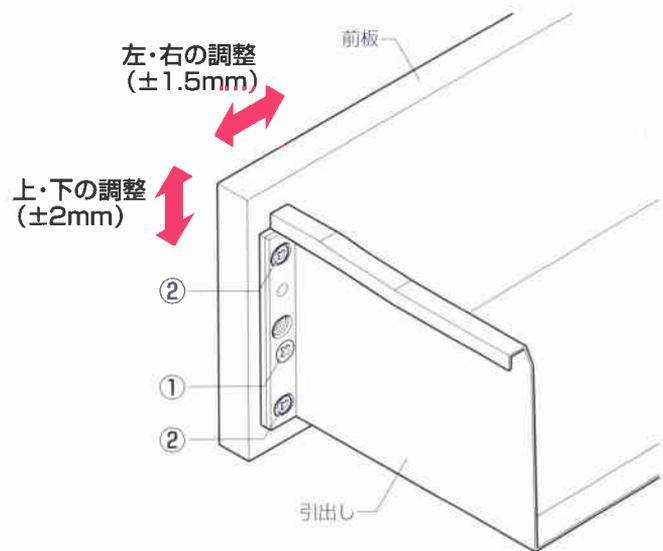
スライドタイプの建付け調整

上下の調整 (±2mm)

- 1) ②のねじを少しゆるめます。(扉中央部にL金具が使用されている場合は、固定ねじもゆるめます。)
- 2) ①のねじを回し、前板を正しい位置に合わせます。
- 3) ②のねじを固く締めます。

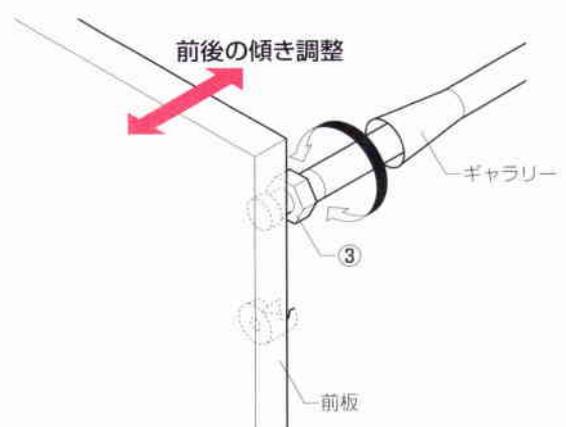
左右の調整 (±1.5mm)

- 1) ②のねじを少しゆるめます。
- 2) 前板を正しい位置に合わせます。
- 3) ②のねじを固く締めます。



前板の傾き調整

1) ③の樹脂部分を右、又は左に回して調整します。

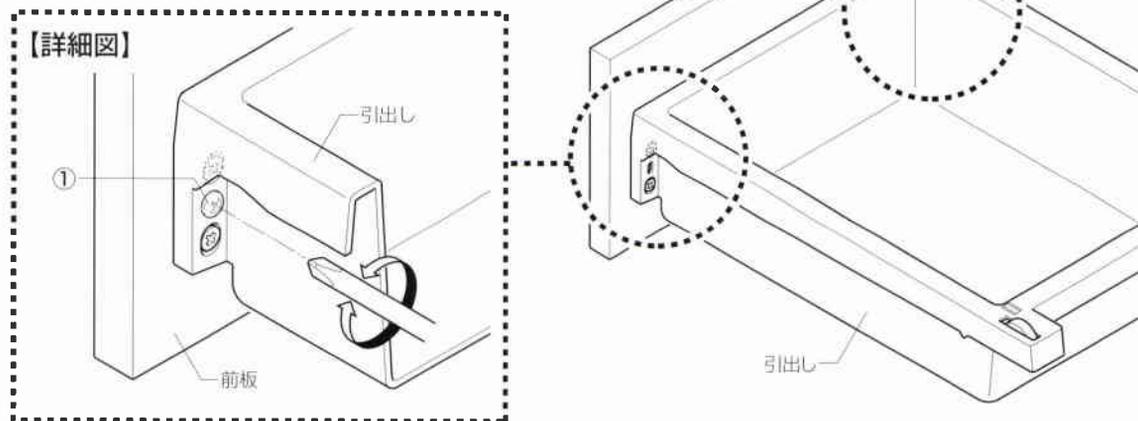


4

樹脂製スライドタイプの建付け調整

※上・下の調整のみできます。

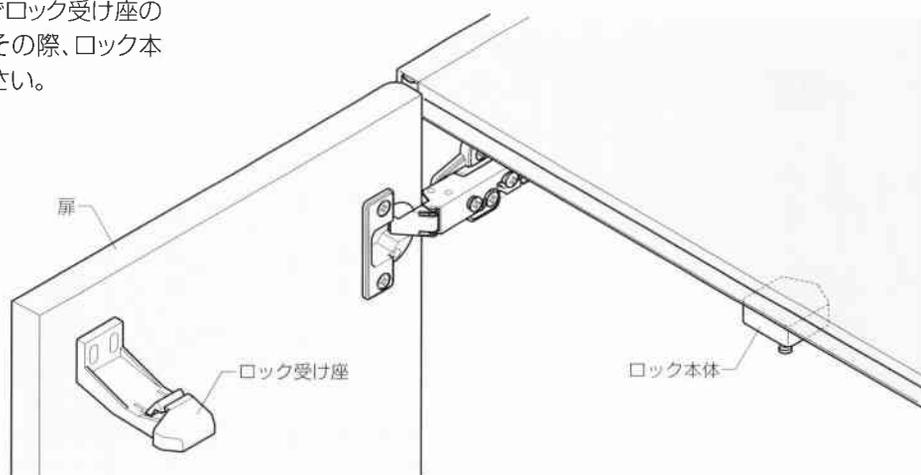
- 1) ①のねじをゆるめます。
- 2) 前板を正しい位置に合わせます。
- 3) ①のねじを固く締めます。



5-1

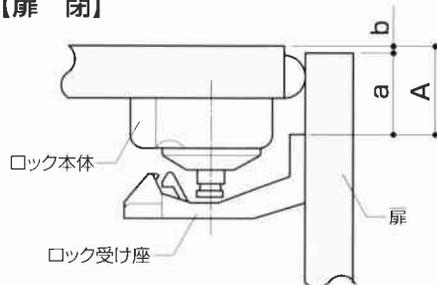
ロック吊戸の調整①

- 扉の調整を行った後、必ずロック受け座の調整を行ってください。その際、ロック本体の種類を確認してください。

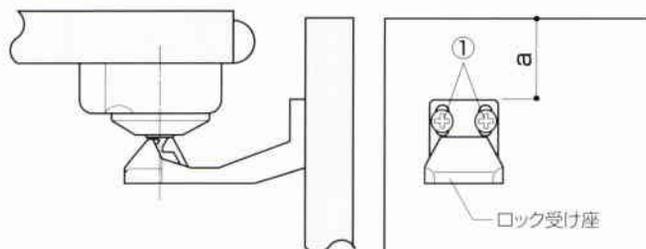


- ①のねじをゆるめ、ロック受け座をA寸法の範囲内で上下の調整をしてください。調整後①のねじを必ず締め直してください。

【扉 閉】



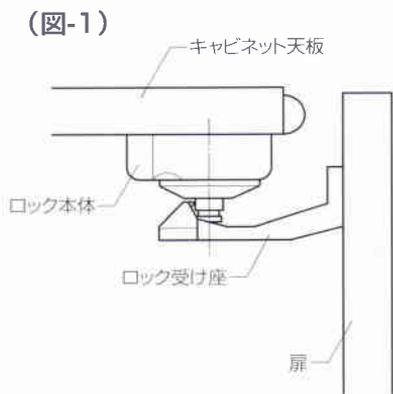
【扉 開】



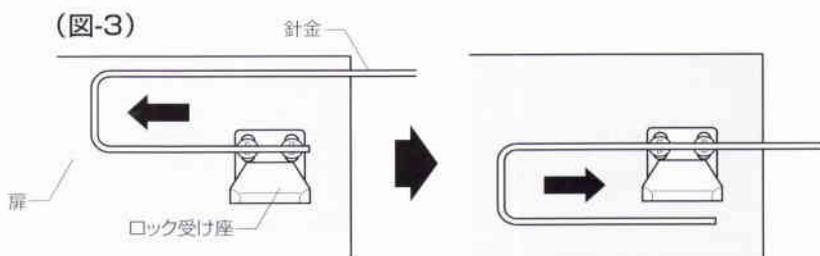
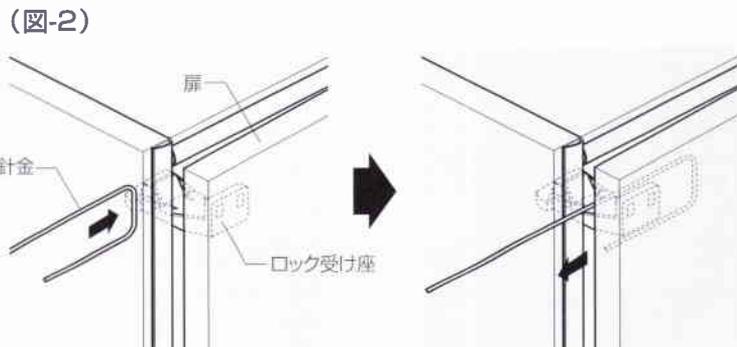
機種	A=(a+b) (mm)
吊戸棚	25.5~28
シーリング吊戸	39.5~42

●地震の揺れがおさまって静止状態になると、ロックが自動的に解除されますが、キャビネットが傾いた場合は、ロックが解除されませんので下記の方法で強制解除を行ってください。

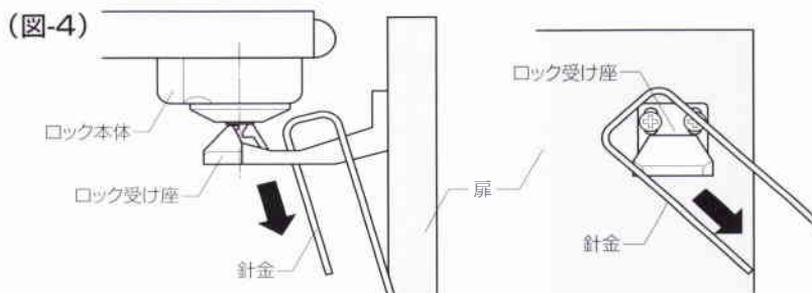
①扉を手前に引きます。(15mm程度のすき間ができます)(図-1)



②針金を曲げたものなどを差し込み、ロック受け座に引掛けます。(図-2・3)



③一度、扉を閉めた後、針金を下方に引きながら(ロック受け座を下げながら)扉を開きます。(図-4)

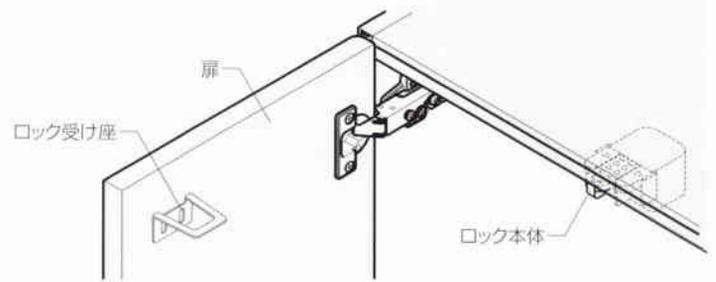


5-2

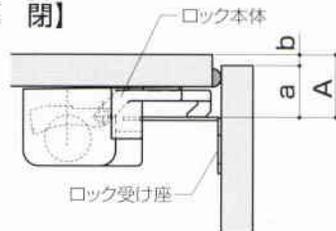
ロック吊戸の調整②

- ①のねじをゆるめ、ロック受け座をA寸法の範囲内で上下の調整をしてください。調整後①のねじを必ず締め直してください。

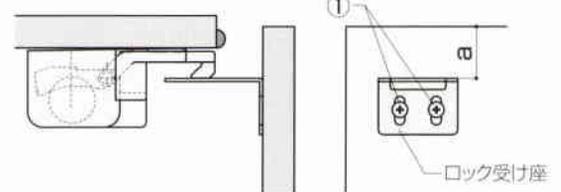
機種	A=(a+b) (mm)
吊戸棚	27.5~31.5
シーリング吊戸	41.5~45.5



【扉閉】



【扉開】

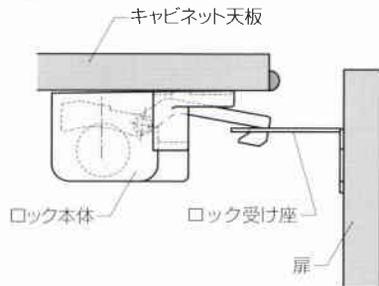


- 地震の揺れがおさまって静止状態になると、ロックが自動的に解除されますが、キャビネットが傾いた場合は、ロックが解除されませんので下記の方法で強制解除を行なってください。

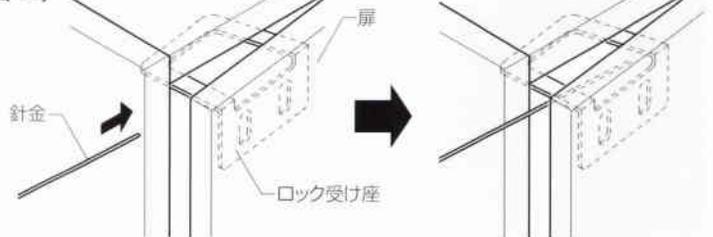
①扉を手前に引きます。(20mm程のすき間ができます) (図-1)

②針金など、すき間に差込める棒状のものを用意して、ロック受け座の下側に入れます。(図-2・3)

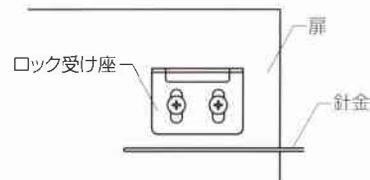
(図-1)



(図-2)

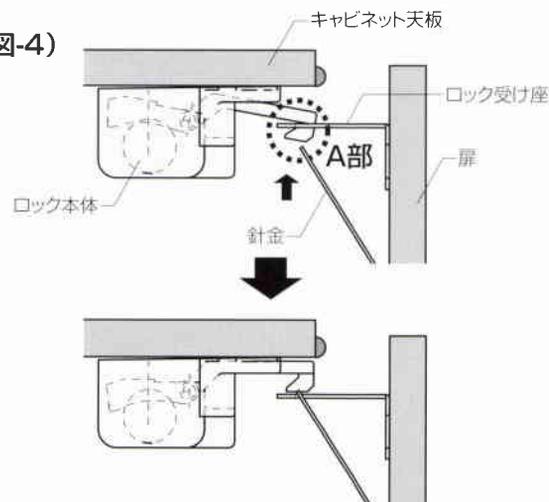


(図-3)

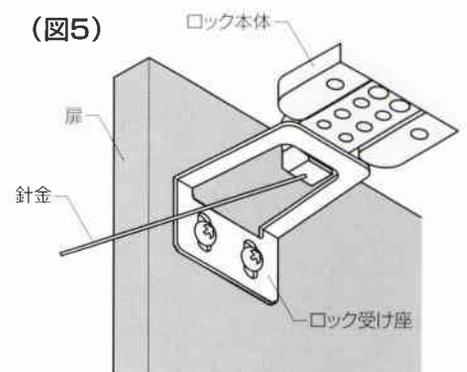


③ロック本体のA部を針金で押し上げ、A部が完全に上がった状態で扉を開きます。(図-4・5)

(図-4)



(図5)



5-3

ロック吊戸の調整③

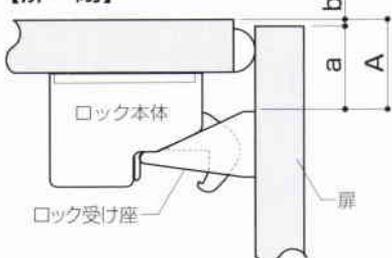
- 扉の調整を行った後、必ずロック受け座の調整を行ってください。

機 種	A=(a+b) (mm)
吊戸棚	26~31
シーリング吊戸	40~45

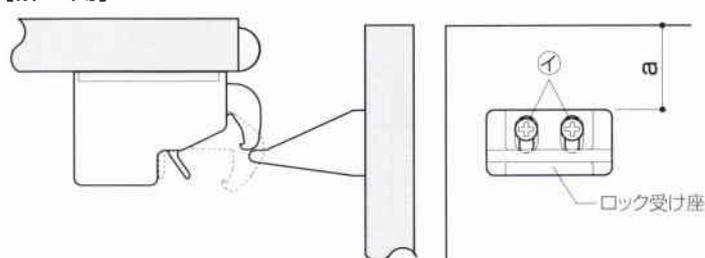


- ①のねじをゆるめ、ロック受け座をA寸法の範囲内で上下に調整してください。調整後①のねじを必ず締直してください。

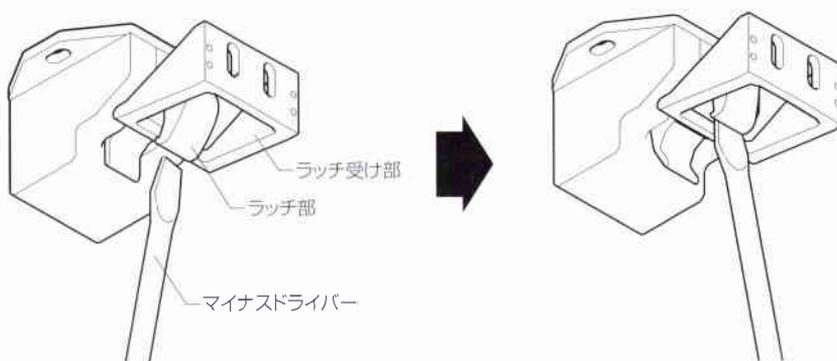
【扉 閉】



【扉 開】



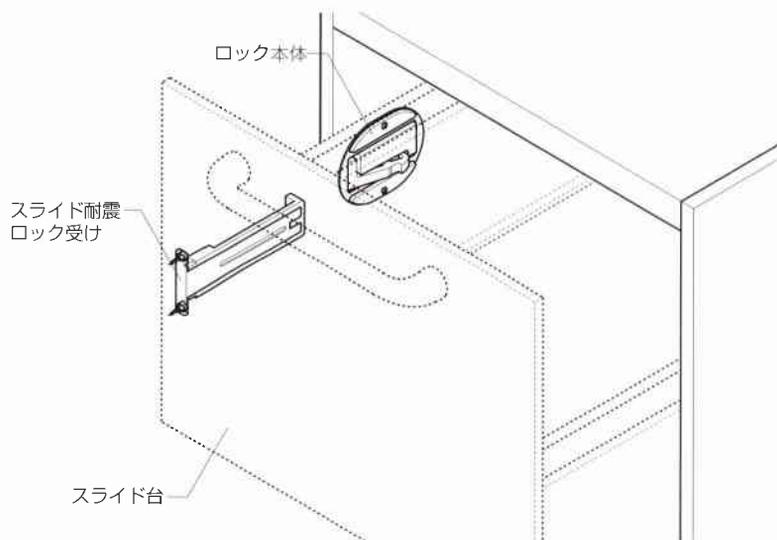
- ロックの掛かっている扉を開くと、15mm程度のすき間が開くので、マイナスドライバーなどの工具をロック部(ラッチと受けの部分)に挿入し、ラッチを受けから抜くように、ドライバーを用い扉を開放します。



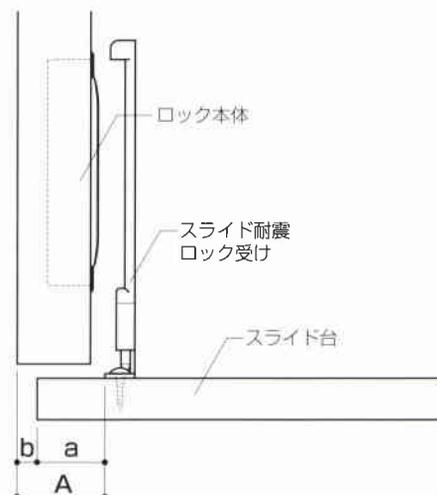
6

スライド耐震ロックの調整 (扉にスライド耐震ロック受けが設置している場合)

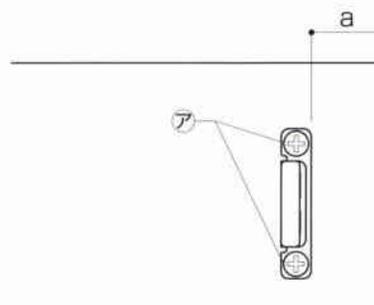
- 扉の調整を行った後、必ずロック受け座の調整を行ってください。



機種	A=(a+b) (mm)
フィラーなし	16.5
フィラーあり	18.5



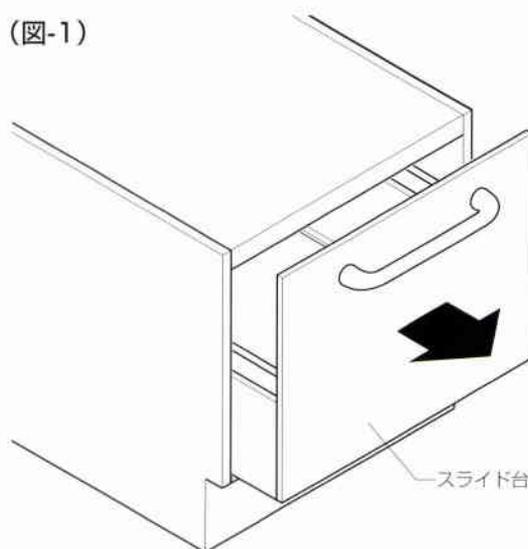
- アのねじをゆるめ、スライド耐震ロック受けをA寸法の範囲内で上下に調整してください。調整後、アのねじを必ず締直してください。



※地震の揺れがおさまって静止状態になると、ロックが自動的に解除されますが、キャビネットが傾いた場合は、ロックが解除されませんので、下記方法で強制解除を行ってください。

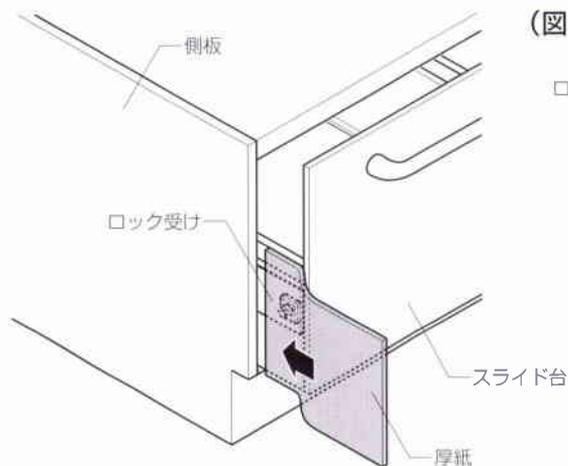
- ①スライド台を手前に引きます。(30mm程度のすき間ができます。)(図-1)

(図-1)

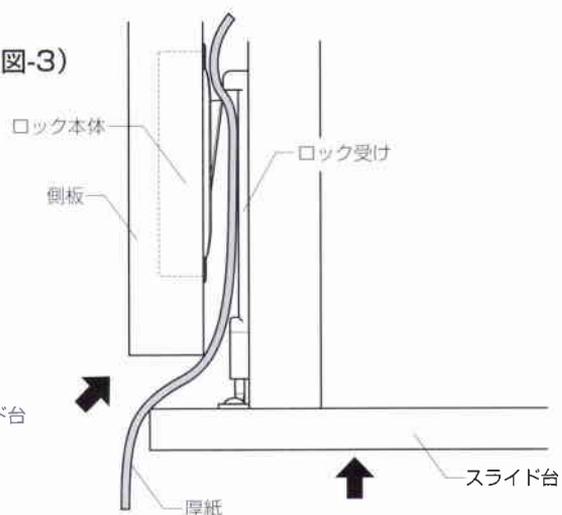


②スライド台を10mm程度閉めながら厚紙(ダンボールなど)をロック本体とロック受けの間に差込みます。(図-2,3)

(図-2)

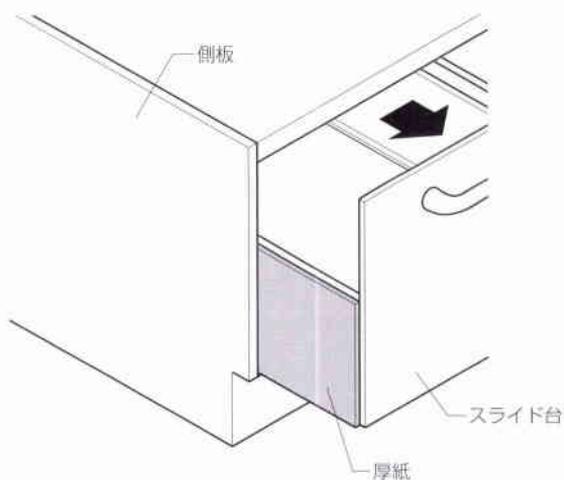


(図-3)



③厚紙を差込んだままスライド台を引出します。(図-4)

(図-4)

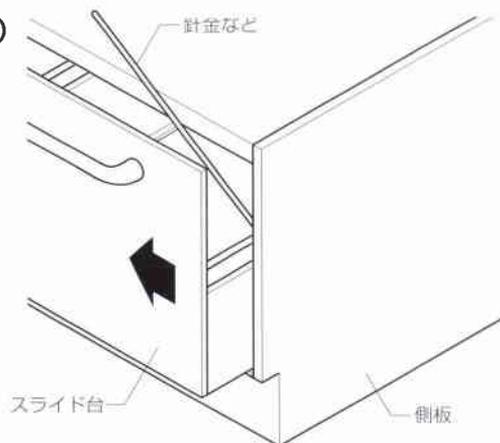


※壁側やパネルなどが側板の横に設置された場合は下記方法で解除を行ってください。

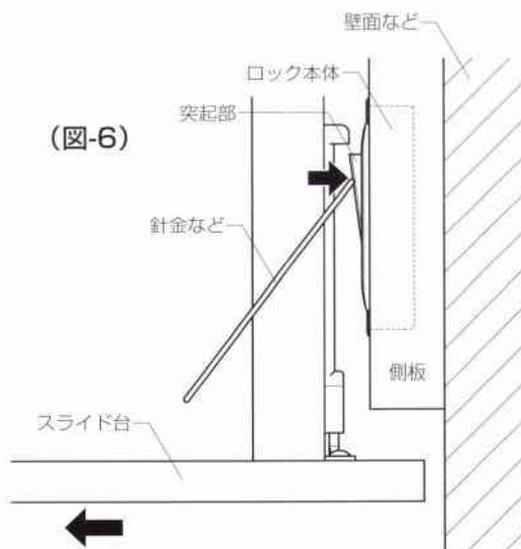
④壁側やパネルの設置されている逆側のロックを①~③の方法で解除してください。又、解除された側のロック受けを取外してください。

⑤スライド台を解除された側に引張りながら針金などでロック本体の突起部を押込みます。(図-5,6)

(図-5)



(図-6)

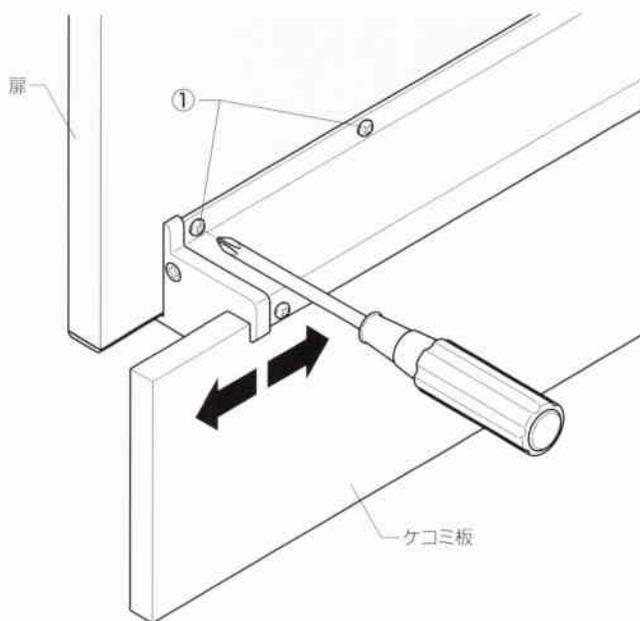


⑥押込みながらスライド台を引出します。

7

シンクキャビネット(開き扉)けこみ部の建付け調整

- 1) ①のねじをゆるめます。
- 2) ケコミ部を正しい位置に合わせます。
- 3) ①のねじを固く締めます。

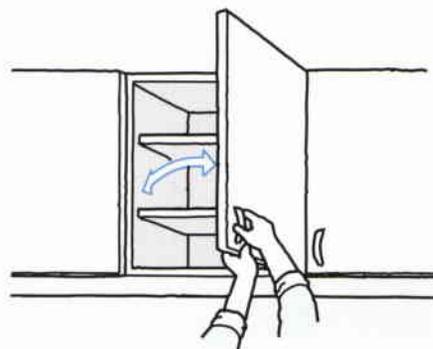


8

扉の取外し・取付け方法

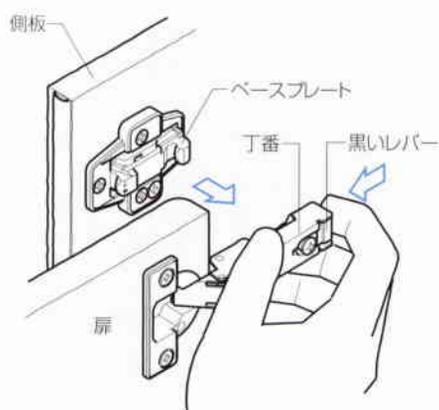
▲ 注意

- 扉の取付けの後、扉を両手で支えながら、開閉及び軽くゆすり、扉が外れないことを必ず確認してください。丁番がベースプレートに入っていないと扉が外れ、落下します。



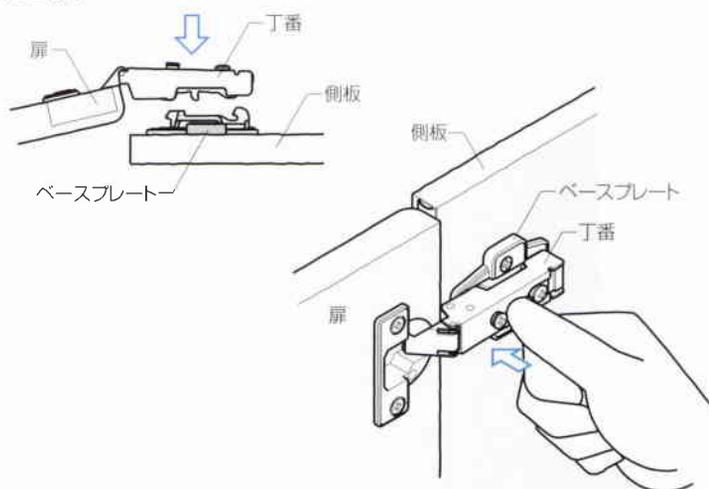
扉の取外し

- 扉を支えながら、丁番の黒いレバーを押込んでください。



扉の取付け

- 丁番をベースプレートにあて、押込んでください。



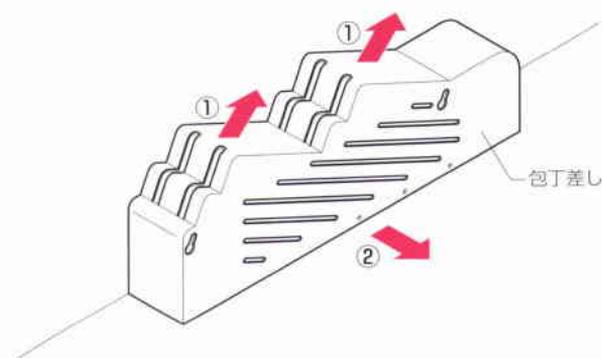
9

斜め包丁差しの取外し・取付け方法

【斜め包丁差し】

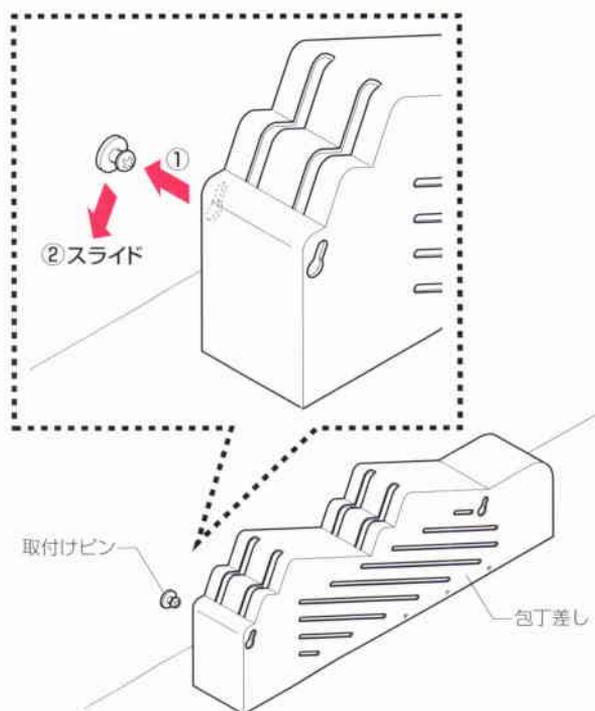
■取外し

- ①包丁差しを斜め上方にスライドさせます。
- ②手前に引くと外れます。



■取付け

- ①扉裏側についているピンに、包丁差し取付け穴から包丁差しを差込みます。
- ②包丁差しを斜め下方にスライドさせて固定します。

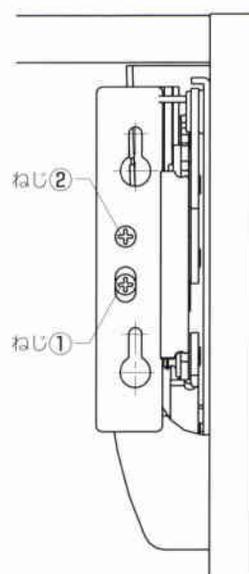


10

フラップ扉の高さ調整

- 1) ①のねじをゆるめます。②のねじを時計回りに回すと扉が下がり、反時計回りに回すと扉が上がります。
- 2) 最後に①のねじを締付け扉を固定します。

【扉裏面図】



フラップ扉のバネ調整

- 扉が自然と下がったり、上がったりするときは、バネ調整ねじで調整してください。
- 扉を上までいっぱい開けます。もし下がってくる場合は手で押さえておいて調整してください。カバーは外さなくとも調整できます。

【扉が自然と下に下りてくる場合】

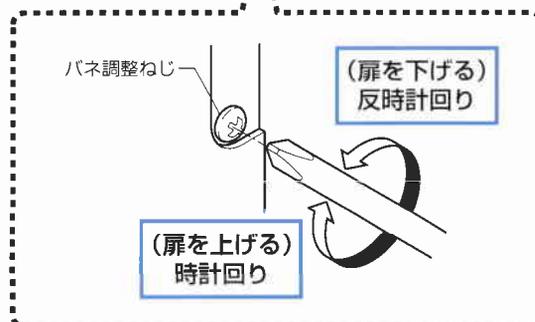
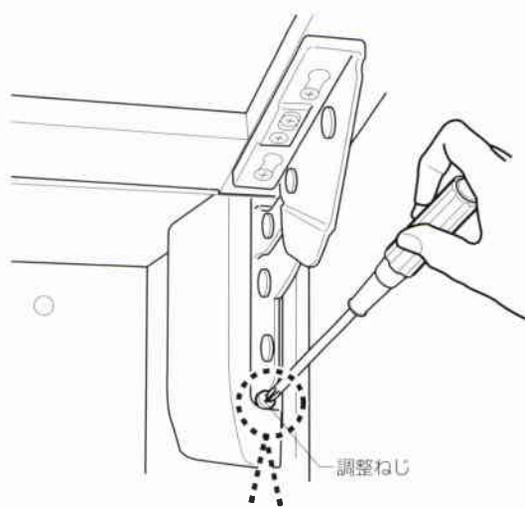
バネの力を強くする必要があります。左側と右側の金具のバネ調整ねじをプラスドライバーで右に回して扉が左右均等になるように上げてください。

【扉が自然と上に上がる場合】

バネの力を弱くする必要があります。左側と右側の金具のバネ調整ねじをプラスドライバーで左に回して扉が左右均等になるように下げてください。

お願い

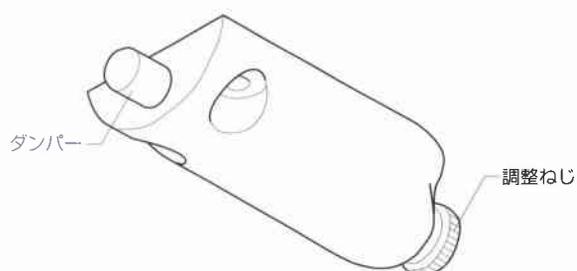
- 左右の金物の扉を押上げる力が均等になるようにバネ調整ねじを調整してください。調整後扉の開閉を確認してください。



11-1

開き扉用ソフトモーションの調整方法①

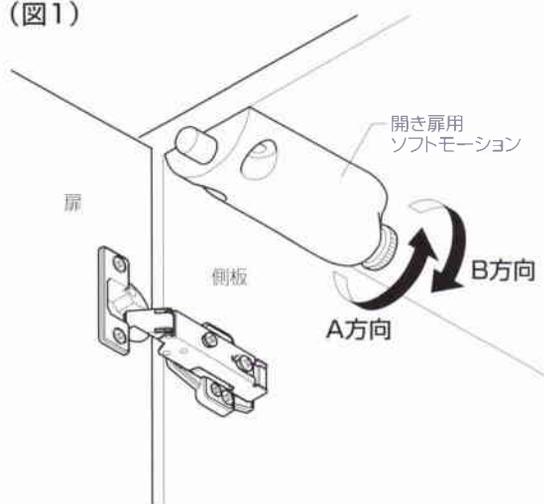
各部名称



調整方法

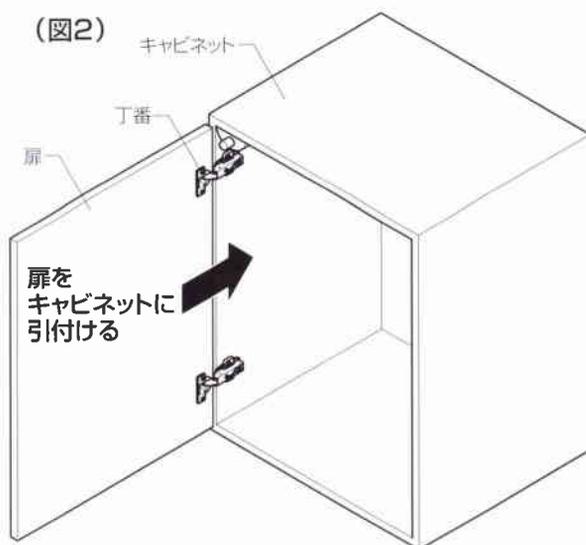
- 調整ねじをA方向に回すと、ダンパーが手前に出てきて、力が強くなります。又、調整ねじをB方向に回すと、ダンパーが奥に入り、力が弱くなります。(図1)

(図1)



- 調整ねじをA方向にいっぱい回してもダンパーの力が弱い場合は、丁番で扉位置をキャビネットに引きつけると、力が更に強くなります。(図2)

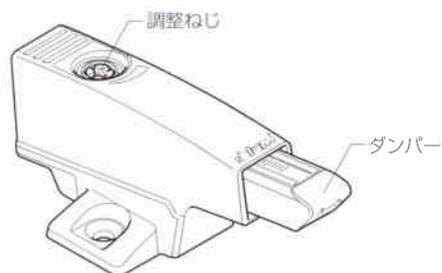
(図2)



11-2

開き扉用ソフトモーションの調整方法②

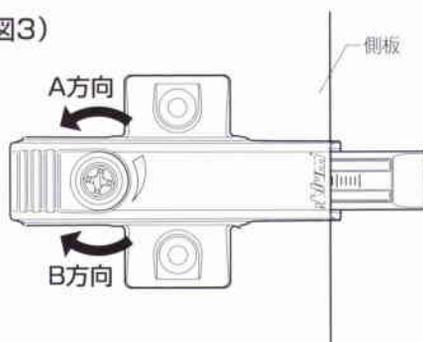
各部名称



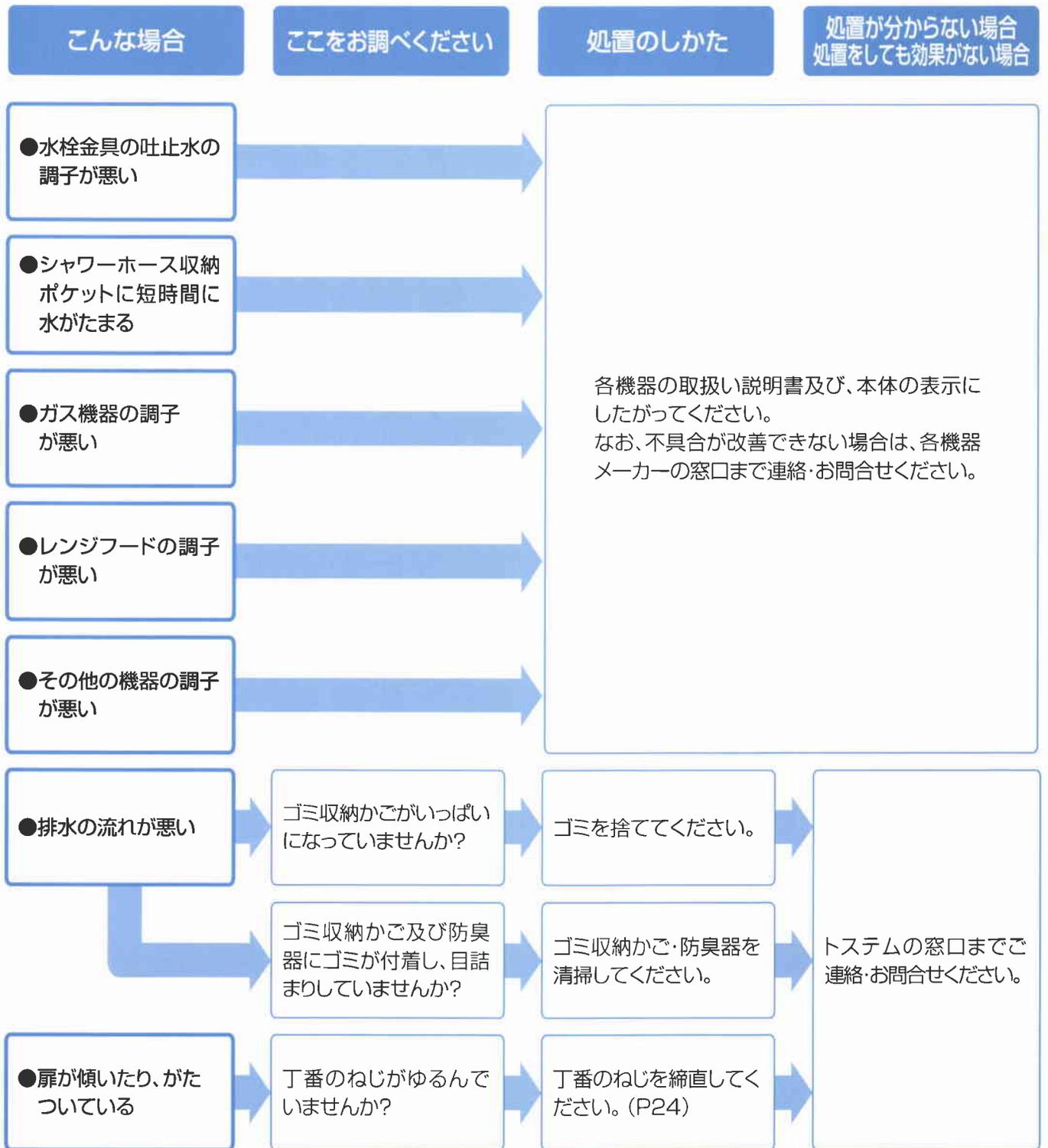
調整方法

- 調整ねじをA方向に回すと、ダンパーが手前に出てきて、力が強くなります。又、調整ねじをB方向に回すと、ダンパーが奥に入り、力が弱くなります。(図3)

(図3)



こんな場合には



保証について

本書は、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理をお約束するものです。保証期間中、商品に故障、損傷などの不具合(以下「不具合」といいます)が発生した場合には、お取扱いの施工店、工務店、販売店又は当社商品窓口にご相談ください。

■対象商品…………… マンション用システムキッチン

■保証期間…………… 施工者よりの引渡し日(注1・注2・注3)から本体及び水栓は2年間、電気機器は1年間とします。
(注1)改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日とします。
(注2)分譲住宅(建売住宅)、分譲及び賃貸マンションの場合は、建築物が建築主さまへ引渡しされた日とします。
(注3)建築主さまが直に施工される場合は、購入日とします。

■保証内容…………… 取扱い説明書、本体ラベル又はその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項を除き無料修理いたします。

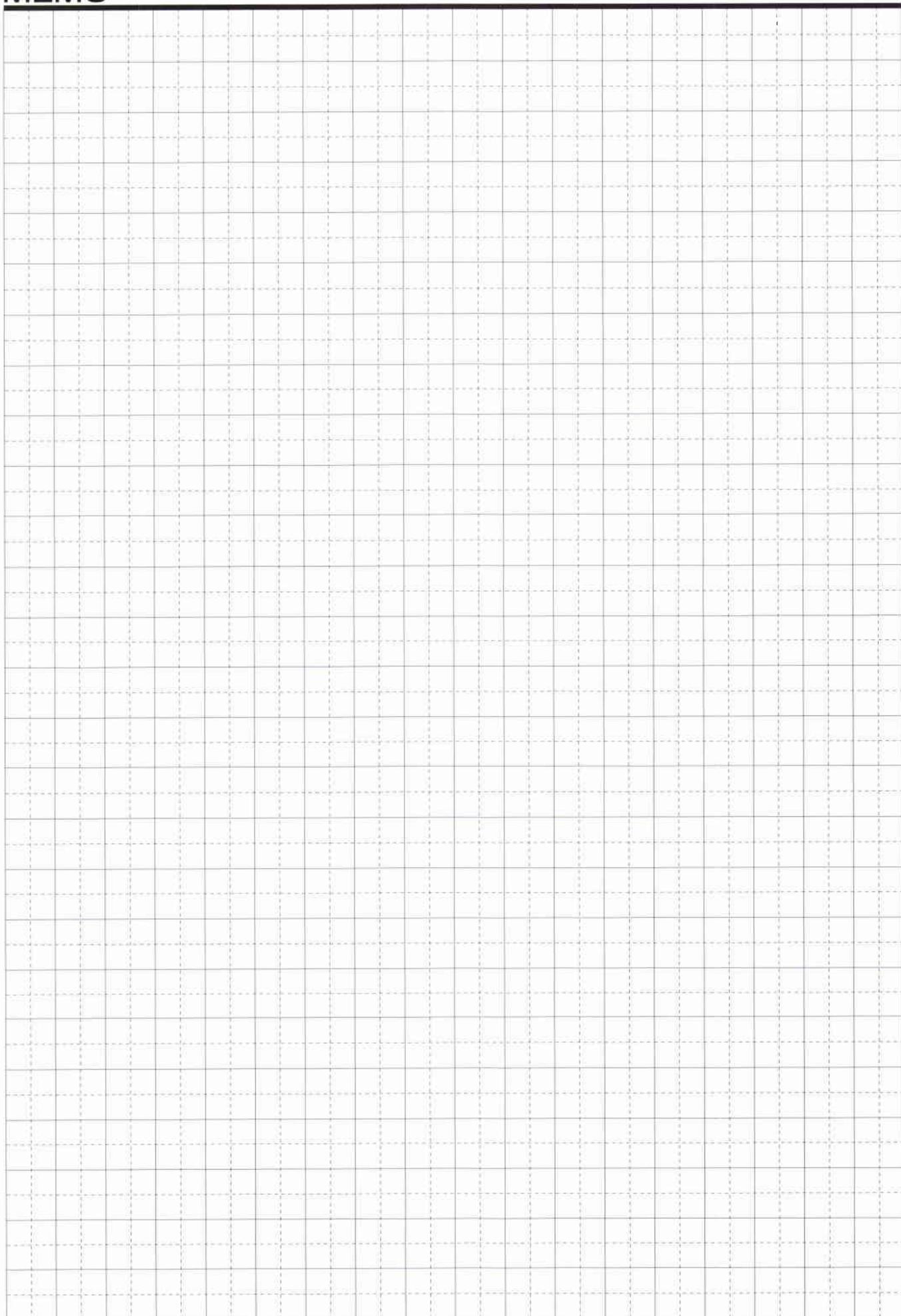
■免責事項…………… 保証期間内でも、次のような場合には有料修理となります。

- ①本来の使用目的以外の用途で使用した場合の不具合又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合
- ②ユーザーが適切な使用、維持管理をおこなわなかったことに起因する不具合
(例えば、塩素系の洗浄剤、漂白剤、ヌメリ取り剤などの使用によるシンク、天板の変色や腐食、扉ヒンジの固定ねじが緩んだままでの使用による扉の外れなど)
- ③当社の施工説明書などに基づかない施工、お客さま自身による施工又は移動、分解、改造などに起因する不具合
(例えば、不適切な取付けによるキャビネットの落下、不適切な配管による漏水など)
- ④建築躯体の変形など商品本体以外の不具合に起因する商品の不具合
- ⑤商品、部品の経年変化又は使用に伴う摩耗などにより生じる不具合
(例えば扉塗装の色あせ、木製品のソリ、ひび割れ、変色や樹脂部品の変質、変色など)
- ⑥犬、猫、鳥、鼠などの小動物や昆虫などに起因する不具合
- ⑦火災、爆発などの事故、地震、噴火、洪水、津波などの天変地異又は戦争、暴動などの破壊行為による不具合
- ⑧当社の手配によらない輸送、加工、組立て、施工、管理、メンテナンスなどに起因する不具合
(例えば、ハウスクリーニング業者が、メーカー指定の中性洗剤以外のクリーニング剤使用によるシンク、天板、扉などの変色や腐食、浄化槽洗浄剤から発生するガスによるシンクや金属部品の腐食など)
- ⑨自然環境、住環境に起因する不具合
(例えば、温泉水、地下水など水質による金属部の腐食、塩害による腐食、凍結による損傷など)

※保証期間終了後の修理、交換などは有料とさせていただきます。

※本書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お取扱いの施工店、工務店、販売店又は当社商品相談窓口にお問合わせください。

MEMO





トステム株式会社

本社 〒136-8535東京都江東区大島 2-1-1

- この商品に関するお問合せ先
- ・関東地区 内装東京支店 (03) 5858-2852
 - ・関西地区 内装大阪営業所 (06) 6615-2790
 - ・九州地区 内装九州支店 (092) 415-5020

部屋No.	システムキッチン						
	システム キッチン	水栓①	水栓②	浄水器	食洗機	電子コンベック	レンジフード
		33744/クローエ	KL42851/CERA	Ge-1z・FA II /メイスイ	FB4511PMS/ハーマン		NBX-4S-901KV L/R S/富士
1903	●	●		●			●